

2024年度

授業計画

2020年度以降入学生用



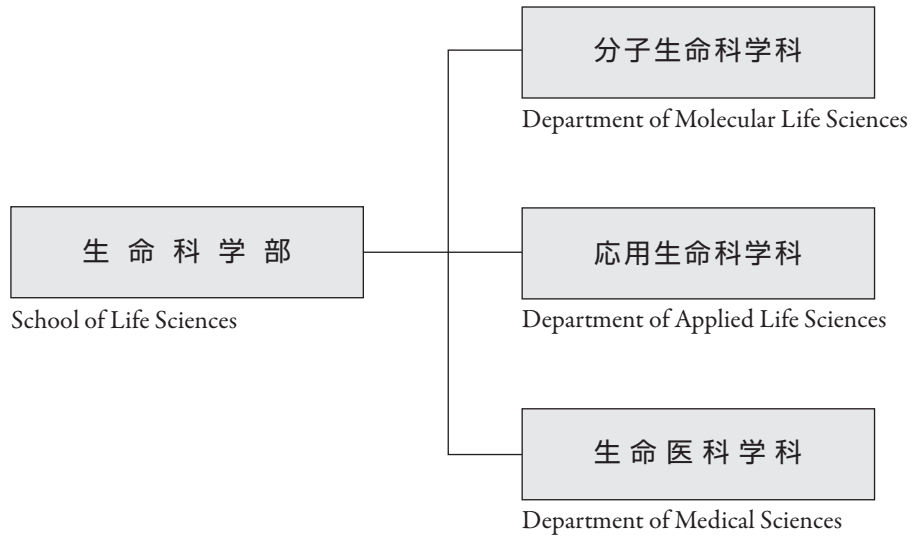
since 1880

東京薬科大学生命科学部

構成図

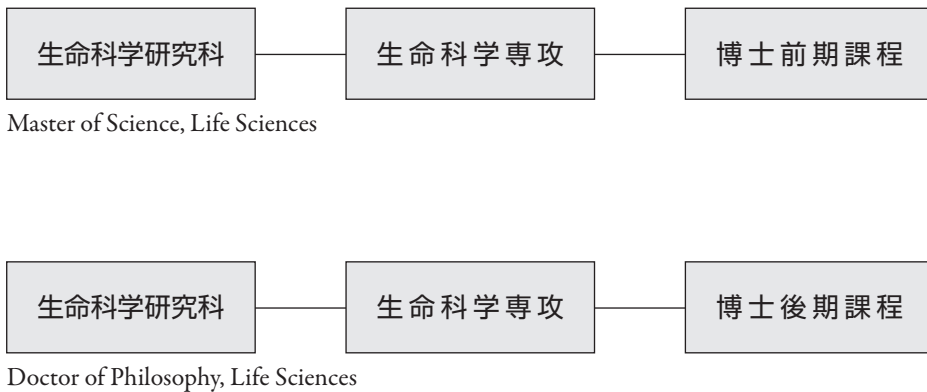
東京薬科大学

Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences



東京薬科大学大学院

Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences Graduate school of Life Sciences



2024年度

授業計画

2020年度以降入学生用

履修要項



since 1880

東京薬科大学生命科学部

目次

2024年度学年暦	6
2024年度授業日予定表	7
生命科学部の教育理念と目指すべき学生像	8
各学科の目標（特徴）	10
生命科学部の教育研究上の目的	11
三つの方針	11
東京薬科大学沿革略	14

履修要項

15

I 履修要項

16

①教育制度	16
②授業科目	16
③授業時間	16
④科目の単位	16
⑤卒業に必要な単位	16
⑥履修計画と履修申請	17
⑦試験の方法	19
⑧レポート提出	21
⑨履修認定	21
⑩学業成績	22
⑪GPAについて	23
⑫年次進級の判定	24
⑬科目別授業内容(シラバス)について	24
⑭転学部制度について	25
⑮転科について	25
⑯大学院飛び入学制度について	25
⑰卒論研究室配属	25
⑱伝達の方法	25
⑲卒業論文研究における基本方針	26
⑳悪天候、災害および交通機関が 不通の場合の授業措置	26
㉑各種証明書発行	27
㉒欠席について	28
㉓連絡先	29

II	生命科学部 課程表 (2020年度以降入学生用)	30
----	-----------------------------	----

III	特別プログラムについて	43
-----	-------------	----

IV	教育職員免許状取得に 関する事項	45
----	---------------------	----

V	食品衛生管理者および 食品衛生監視員の 任用資格について	54
---	------------------------------------	----

VI	ECO-TOPプログラムに ついて	57
----	----------------------	----

VII	生命科学部で 取得可能な資格	59
-----	-------------------	----

VIII	資格案内のまとめ	62
------	----------	----

IX	キャリア・就職支援	64
----	-----------	----

X	生命科学部の 研究室と教員	66
---	------------------	----

XI	研究棟について	68
----	---------	----

XII	自習時間における コンピュータ使用について	69
-----	--------------------------	----

XIII	Codexにおける ファイル(レポート)提出について	71
------	-------------------------------	----

XIV	カリキュラムについて	74
-----	------------	----

2024年度 生命科学部 学年暦

前期 4月1日(月)～9月15日(日)		
2024年 4月	1日(月)	2～4年生新年度ガイダンス(Web)、 新入生オリエンテーション(午後)、 4年薬品管理
	2日(火)	学部入学式(学内)、 健康診断(4年男女)、 健康診断(3年女子)
	3日(水)	1年ガイダンス、 プレースメントテスト(英語)、 健康診断(2年男女)
	4日(木)	1年プレースメントテスト (物理・生物)、 健康診断(1年男女)
	5日(金)	1～4年留年者ガイダンス、 1年ガイダンス、 健康診断(3年男子)
	8日(月)	前期選択科目履修申請
	15日(月)	
	8日(月)	前期授業開始(1～4年)
	9日(火)	1年医科ゼミナール開始
	11日(木)	1年分子・応用ゼミナール開始
	6月	5日(水)
10日(月)		教職課程ガイダンス(1年)
7月	16日(火)	前期授業終了、月曜日授業日
	17日(水)	授業予備日
	18日(木)	授業予備日
	19日(金)	前期試験 (予備日：7月29日、30日)
	26日(金)	
	8月1日(木)	
9月	8月3日(土)～18日(日)	8/3～18 職員一斉休暇 (窓口業務休止)
	9月16日(月)	
8月	26日(月)	前期定期試験成績発表・追再試験者発表
9月	2日(月)	前期追・再試験 (予備日：9月9日、10日)
	6日(金)	

後期 9月16日(月)～3月31日(月)		
9月	17日(火)	後期授業開始
	18日(水)	前期成績配付
	20日(金)	成績Web発表
	20日(金)	後期選択科目履修申請
	25日(水)	
10月	5日(土)	父母懇談会、体育祭
	9日(水)	卒論配属説明会(3年)
	15日(火)	後期月曜日授業日
11月	1日(金)	東葉祭 (準備・片付け日含む)(休講)
	4日(月)	
	6日(水)	創立記念日(休講)
	13日(水)	後期学生大会(午後休講)
12月	13日(金)	卒論研究室配属決定(予定)
	21日(土)	4年薬学共用試験(OSCE)未定 (受験者以外登校禁止)
	22日(日)	
	24日(火)	
12月25日(水)	学生冬期休暇	
2025年1月7日(火)	(12/26～1/5 職員一斉休暇) (窓口業務休止)	
1月	8日(水)	授業再開
	14日(火)	後期授業終了、後期月曜日授業日
	15日(水)	後期定期試験 (予備日：1月23日、24日)
	22日(水)	
	2月5日(水)	
2月	12日(水)	後期追・再試験 (予備日：2月15日、19日)
	18日(火)	
	20日(木)	卒業論文発表会(4年)
	21日(金)	
	3月	6日(木)
14日(金)		学位記授与式
19日(水)		進級発表、転科発表、 成績配付(アドバイザーから)
21日(金)		成績Web発表

* 上記スケジュールは変更する場合もある。

学部学生登校禁止日(予定)

10月19日(土)	薬学部・生命科学部AO入試
11月16日(土)、23日(土)	推薦入試
1月18日(土)、19日(日)	大学入学共通テスト
1月30日(木)	薬学部 B方式入試
2月2日(日)	生命科学部 B方式入試
2月6日(木)	薬学部・生命科学部 T方式入試
3月9日(日)	生命科学部 C方式入試

2024年度 生命科学部 授業日予定表

授業日
 授業予備日
 午後休講
 試験日
 試験予備日

×
 登校禁止日

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 / 30	24	25	26	27	28	29

6月5日(水)は学生大会のため午後休講

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16*	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9 ^b	10	11	12
13	14	15*	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

^b 10月9日(水)午前は卒論ガイダンスオンデマンド配信
 ・10月19日(土) 薬学部・生命科学部AO入試

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

11月6日(水)創立記念日
 11月13日(水)は学生大会のため午後休講
 ・東葉祭 準備~片付け (11月1日-11月4日)
 ・11月16日(土)、23日(土) 推薦入試

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14*	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

・1月18日(土)、19日(日) 大学入学共通テスト
 ・1月30日(木) 薬学部 B方式入試

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

・2月2日(日) 生命科学部 B方式入試
 ・2月6日(木) 薬学部・生命科学部 T方式入試

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 / 30	24 / 31	25	26	27	28	29

・3月9日(土) 生命科学部 C方式入試

曜日別授業コマ数

	月	火	水	木	金
前期	13 (12+1)	14 (15-1)	14 (午前) 13 (午後)	14	13
後期	13 (11+2)	14 (16-2)	14 (午前) 13 (午後)	14	13
通年 (合計)	26	28	28 (午前) 26 (午後)	28	26

【振替授業日】

- * (前期) 7月16日(火)は月曜日授業日
- * (後期) 10月15日(火)は月曜日授業日
- * (後期) 1月14日(火)は月曜日授業日

* 上記スケジュールは変更する場合もある。最新の予定表は以下の本学HPより参照すること。
<https://www.toyaku.ac.jp/lifescience/about/curriculum/syllabus.html>



生命科学部の教育理念と目指すべき学生像

東京薬科大学の生命科学部は、生命科学の発展を目指して、医薬理農工の領域を統合した学部です。生命科学領域の発展を通して、人々の健康や福祉、持続的社会の維持に貢献する人を育てます。

生命科学部には、入学から卒業までの三つの方針があります（※）。皆さんは、そのうちの教育課程編成・実践の方針（カリキュラム・ポリシー）に従って学び、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に従って到達度が評価され、卒業を迎えます。卒業に必要な単位を取得するとともに、ディプロマ・ポリシーに掲げられている次の1～4の力や、5の学科ごとに特徴のある知識・技能を身につけるよう、日頃から心がけて学修に励んでください。そして、人類と生命を慈しむ心と広い視野をもち、生命科学領域において人々の健康や福祉、持続的社会の維持に貢献する人として社会に巣立ってください。

- 1) 課題解決力：課題を解決できる思考力と判断力。
- 2) 協働力：課題の解決を他人と協働して実現できる態度。
- 3) 自己教育力：主体的に学ぶ力と学ぶ態度。
- 4) 国際力：国際人として将来活躍するために必要な基礎的知識、英語力・表現力。
- 5) 分子生命科学科：生命の根源的しくみ、科学および創薬基礎に関わる生命科学分野における基礎的知識と技能。
応用生命科学科：環境・食糧・資源・生命に関わる基礎的知識と技能。
生命医科学科：ヒト疾患の分子機構、予防・治療に関わる基礎的知識と技能。

皆さんの学ぶ生命科学は、細胞や生体物質、遺伝子とその発現などの生命科学のほぼ全ての領域に関連する共通性の高い内容と、それらを展開・応用した様々な領域の内容とがあります。共通性の高い内容やその基礎となる領域の科目が1・2年次に多く配置され、学年とともに専門性を高めていくカリキュラムになっています。3年次では選択科目が多くなり、学科指定選択科目のようにそれぞれの学科の特徴が表れる科目も増えます。皆さんは、上にあげた5つを学修目標とし、自らの将来を見据え、好奇心を軸にして、可能な限り広く深く学んでください。

また、生命科学は実験結果を根拠とする学問です。頭で学ぶだけでなく、学生実習を通して身体で学ぶことは、知識を確実なものとしします。実習で身につ

けた知識や技術は、4年次の卒業論文研究につながります。研究室で教員から直接指導を受けることにより得る研究体験は、課題解決力を磨く最高の機会であり、研究者や技術者に限らず社会のあらゆる分野で活躍する人にとって有益かつ貴重な経験となります。

カリキュラムには、科学を広く学ぶ知識人となるため、また、品格ある社会人としてのヒューマンイズムの精神を育てるため、語学や教養科目が総合科目として配置されています。英語の力は生命科学ではもちろん、今や社会での必須アイテムです。しっかり学んで豊かな人間性を育ててください。

専門科目と総合科目のいずれにも、卒業に不可欠な必修科目と自由に選ぶ選択科目があります。この他に卒業認定には含まれない科目もあります。将来の進路を考慮して教職の免許などの資格を得ることも有意義です。資格取得を目指す人は、該当する科目の履修も検討してみてください。

学修を効果的なものにするために最も大切なことは、自主的に学ぶ態度です。**自らの意思で学ぶこと**です。これまでは言われたことを学ぶだけ、決められたことを覚えるだけだった人も多いかもしれません。知識を得たら（記憶）、それを自分が納得できるものにし（理解）、それをもとに考えたり（展開）、人に伝えたり（発信）することが大切です。この記憶～理解～展開・発信の“知のサイクル”を繰り返していくことで、皆さんは生命科学の専門知識と広い教養を身につけた、社会からも期待される、優れた“人財”に成長することができます。自主的に知識を獲得する習慣を身につけることは、将来の宝になります。また、知のサイクルを持続するためにはそれを支える強靱な体力と精神力を身につけることも大切です。友人や教員との豊かな人間関係を築くことにも心がけ、皆さん全員が、充実した規則正しい、楽しく学ぶ学生生活を送るように願っています。

大学時代を振り返ったときに、4年間は短かったと感じる人は多いことと思います。未来の自分のために、一日一日を大切に過ごしてください。

※ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの詳細は、P.11「三つの方針」を参照してください。

2024年4月

各学科の目標（特徴）

分子生命科学科

生命（いのち）を支える仕組みを学ぶ

くすり・遺伝子・細胞・脳など、生命を支える仕組みを学ぶ。化学や分子生物学などの基礎学問を基盤とした先端科学の研究を通して、科学・技術の発展と社会に貢献できる人を育成する。

応用生命科学科

遺伝子の働きを学び、食とエネルギーの未来を拓く

食品・微生物・エネルギーなど、生物の多様性や生命をはぐくむ環境を学ぶ。生物のチカラを応用する研究を通して、安全・安心な地球を守れる人を育成する。

生命医科学科

がん、免疫疾患、神経疾患など病気の仕組みや再生医療を学ぶ

難病・がんなど病気のしくみや、免疫、再生医療などを学ぶ。生命科学と医療の現場をつなぐような、病気の新たな治療・診断法の開発を目指し、多くの命と健康に貢献できる人を育成する。

生命科学部の教育研究上の目的

生命科学部は、生命科学における教育と研究を通じて、広範囲な専門的知識と応用力を修得し、解決すべき課題に対する適切な研究手法及び企画遂行能力を備える「課題解決能力」を持ち、人類社会に貢献する人材の育成を目的とする。

分子生命科学科の目的

分子生命科学科は、生命現象の本質を分子レベルで解明するための研究と教育を通じて、これらの領域において必要な知識と能力を修得した研究者、技術者及び実務者等の育成に重点を置く。

応用生命科学科の目的

応用生命科学科は、生命と環境との関わりを解明するとともに、生命科学を利用するための研究と教育を通じて、これらの領域において必要な知識と能力を修得した研究者、技術者及び実務者等の育成に重点を置く。

生命医科学科の目的

生命医科学科は、医学・医療分野における生命科学の応用を目指した研究と教育を通じて、これらの領域において必要な知識と能力を修得した研究者、技術者及び実務者等の育成に重点を置く。

「三つの方針」生命科学部

生命科学部の基本理念・目標

生命科学は、生命のしくみを解明し、人類の繁栄に貢献する学問です。生命科学部では、医薬理農工に関連する広い生命科学の教育、生命現象を探求する基盤的研究と医療や健康、食品など生活に密着した応用的研究を推進します。また、いのちを尊重し、国際社会の発展に貢献する人材を育成します。

生命科学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：学士（生命科学）

幅広い生命科学領域の基礎知識および技能と、自らを教育し、他者と協働し、論理的かつ柔軟に未知の課題を解決する能力と態度を持ち、情報を駆使する力とグローバルな視点を身につけた研究者・技術者・実務者等や科学の成果を社会に還元する人材を育成します。生命科学部は各学科が定める基準に到達した学生の卒業を認定し、学位（学士（生命科学））を授与します。

学科別の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

分子生命科学科：

日本及び国際社会において生命科学分野の課題を協働して解決することとともに、進展の著しい生命科学領域や薬科学に関連した領域において、能力的かつ人間的に継続的に成長しつつ科学・技術の発展と社会に貢献できる人材の育成を目指します。そのために基盤となる専門領域の基礎を固めるとともに、主体的に学び、考え、行動する姿勢を身に付け、将来にわたって教養を養い人間力を培うための素地を育てます。こうした分野で、人類の健康と福祉に貢献でき、それらを実現するために自己教育を続ける力を育みます。

具体的には以下の能力を備え、所定の単位を習得した学生には卒業を認定し、学位を授与します。

- 生命の根源的しくみ、化学および創薬基礎に関わる生命科学分野における基礎的知識と技能を身に付けている。
- 課題を解決できる思考力と判断力を身に付けている（課題解決力）。
- 課題の解決を他人と協働して実現できる態度を持っている（協働力）。
- 主体的に学ぶ力と学ぶ態度を身に付けている（自己教育力）。
- 国際人として将来活躍するために必要な基礎的知識、英語力・表現力を身に付けている（国際力）。

「三つの方針」 生命科学部

応用生命科学科：

生命科学を基盤とし、国内及び国際社会における課題を解決するとともに、今後の人類の発展に貢献できる人材を育成します。特に、生命科学に加え、生物利用を指向した農学や工学に関する見識を持ち、“生物の力”を人類の持続的発展や地球環境の保全に役立てることができる人材を育成します。また、社会の変化に対応するために、自ら学ぶ力を育みます。

具体的には以下の能力を備え、所定の単位を習得した学生には卒業を認定し、学位を授与します。

- ・環境・食糧・資源・健康に関わる基礎的知識と技能を身につけている。
- ・環境・食糧・資源・健康に関わる課題を解決できる思考力と判断力を身につけている（課題解決力）。
- ・課題の解決を他者と協働して実現できる技能と態度を持っている（協働力）。
- ・主体的に学ぶ力と態度を身につけている（自己教育力）。
- ・国際人として将来活躍するために必要な基礎的知識、英語力・表現力を身につけている（国際力）。

生命医科学科：

日本及び国際社会において生命科学分野の課題を協働して解決することとともに、基礎的知識と技能を身に付け、生命科学と医療をつなぐ人材の育成を目指します。すなわち、分子生物学・細胞生物学の知識を駆使し、疾患の分子メカニズムの解明および新たな診断・治療法や予防法の開発を目指すことを目的とした分野に様々な立場から関わる人材を育てます。こうした分野で、人類の健康と福祉に貢献でき、それらを実現するために自己教育を続ける力を育みます。

具体的には以下の能力を備え、所定の単位を習得した学生には卒業を認定し、学位を授与します。

- ・ヒト疾患の分子機構、予防・診断・治療に関わる基礎的知識と技能を身に付けている。
- ・課題を解決できる思考力と判断力を身に付けている（課題解決力）。
- ・課題の解決を他人と協働して実現できる態度を身に付けている（協働力）。
- ・主体的に学ぶ力と学ぶ態度を身に付けている（自己教育力）。
- ・国際人として将来活躍するために必要な基礎的知識、英語力・表現力を身に付けている（国際力）。

生命科学部の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

生命科学部では、多角的な知識と技術を持ち、課題を協働して解決を図ることのできる人間力と人間知、情報を駆使する力、英語力を含む国際的能力、さらには科学の成果を社会に還元する志を持つ人材育成に取り組みます。そのために、基礎科目と専門科目、応用科目、実習、卒業研究など多角的な知識と技術の修得を目指したカリキュラムを設定します。また、学修の評価は、それぞれの科目において、知識・技能の到達度や、思考力・表現力、さらには主体的学修態度、あるいはその総合評価により行います。

学科別の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

分子生命科学科：

分子生物学や化学などの基礎学問を基盤とした先端科学の研究を背景に、その基礎を身に付けることを主眼とします。薬学分野、医科学分野、応用生命科学分野についても学修できるカリキュラムで、基礎学問を基盤として、科学・技術の発展と社会に貢献できる研究者・技術者・実務者等を育成します。1、2年次は基礎科学を重視し、生命科学や創薬・薬化学の基礎となる領域を必修科目によりしっかり学修します。2、3年次はくすり・遺伝子・細胞・脳など、生命を支えるしくみの知識・技能を修得します。

- ・生命科学の基礎的知識として数学、物理学、生物情報、化学、生物学系の講義を開講します。
- ・生命科学分野を研究するための基礎的技術の修得のために、基礎生命科学実習を開講します。
- ・生命の根源的しくみ、創薬および化学に関わる基礎的知識と技能を取得するために、分子生命科学の専門科目並びに分子生命科学実習を開講します。
- ・課題解決力を身につけるために、分子生命科学ゼミナール、実習、卒業論文研究を開講します。
- ・協働力を身につけるために、生命科学と社会、実習、卒業論文研究を開講します。
- ・自己教育力を身につけるために、分子生命科学ゼミナール、卒業論文研究、卒業研究ゼミナールを開講します。
- ・国際力を身につけるために、情報活用能力、生命倫理、英語、人文科学、その他の総合選択科目を開講します。

応用生命科学科：

生物の力を人類や地球の持続的発展に応用するための先端的な研究を背景に、その基礎を身に付けることを主眼とします。生物利用を指向した農学や工学分野に加え、環境生物学の領域についても学修できるカリキュラムにより、応用生命科学分野の研究者・技術者・実務者等を育成します。生命科学に関する基礎的知識を学修するとともに、環境・食品・資源・健康など、応用生命科学に関連する専門的知識や技術について学びます。

- 生命科学の基礎的知識として数学、物理学、生物情報、化学、生物学系の講義を開講します。
- 生命科学分野を研究するための基礎的技術の修得のために、基礎生命科学実習を開講します。
- 生物の力を応用する学問や技能を取得するために、応用生命科学関連の専門科目並びに応用生命科学実習を開講します。
- 課題解決力を身につけるために、応用生命科学ゼミナール、実習、卒業論文研究を開講します。
- 協働力を身につけるために、生命科学と社会、実習、卒業論文研究を開講します。
- 自己教育力を身につけるために、応用生命科学ゼミナール、卒業論文研究、卒業研究ゼミナールを開講します。
- 国際力を身につけるために、情報活用能力、生命倫理、英語、人文科学、その他の総合選択科目を開講します。

生命医科学科：

基礎医学とその医療への応用領域における先端的な研究を背景に、医科学の基礎を身に付けることを主眼とします。医師臨床研修制度によって基礎・臨床医学分野の研究者が減少している中、豊富な医学的知識を有する研究者・技術者・実務者等を養成することを目指したカリキュラムで、生命科学と医療の現場をつなぐ人材、疾患の新たな診断・治療法、そして、その予防法の開発を目指し人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成します。基礎を学修した後、2、3年次では生命医科学領域の必修科目や学科指定選択科目を通して、生活習慣病・がん・難病など病気のしくみや、免疫、再生医療などを学修します。

- 生命科学の基礎的知識として数学、生物情報、化学、生物学系の講義を開講します。
- 生命科学分野を研究するための基礎的技術の修得のために、基礎生命科学実習を開講します。
- ヒト疾患の分子機構、予防・治療に関わる基礎的知識と技能を取得するために、基礎医科学の専門科目並びに生命医科学実習を開講します。
- 課題解決力を身につけるために、生命医科学ゼミナール、実習、卒業論文研究を開講します。
- 協働力を身につけるために、生命科学と社会、実習、卒業論文研究を開講します。
- 自己教育力を身につけるために、生命医科学ゼミナール、卒業論文研究、卒業研究ゼミナールを開講します。
- 国際力を身につけるために、情報活用能力、生命倫理、英語、人文科学、その他の総合選択科目を開講します。

生命科学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

生命科学部では生命科学の分野における十分な知識と技能を持ち、人類の福祉と健康に貢献できる豊かな人間性と広い視野を持つ人材を育成するために、以下の能力を有する学生を求めています。

生命科学部の基本理念・目標を理解し、生命科学領域、環境応用生命科学領域および医学・医療領域において研究者・技術者・実務者等として、あるいは科学の成果を還元することにより人類社会に貢献したいという強い意志があり、本学で充実した大学生活を送りたいと考えている学生で、次のような力を持つ人を選抜します。

- 中等教育における学力の3要素（「知識・技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」）を修得している。
- 理数系および語学の基礎学力を持っている。
- 社会的レベルでの日本語の基本的理解力を持っている。

分子生命科学科：

化学、分子生物学等を基盤として生命現象の解明や創薬に関する領域に興味のある学生を求めます。

応用生命科学科：

多様な生物・環境・食糧・資源・健康およびそれらの応用分野に興味のある学生を求めます。

生命医科学科：

基礎医学とその医療への応用領域に興味のある学生を求めます。

令和3年4月1日（改正）

東京薬科大学沿革略

1880年(明治13年)	医師藤田正方(文部省属官旧丸岡藩士)が本学の前身・東京薬舗学校を本所区亀沢町(現墨田区)に創立
1886年(明治19年)	大河寛之助らによって神田区美土代町(現千代田区)に薬学講習所(もう一つの本学の前身)が創立される
1888年(明治21年)	東京薬学校と薬学講習所を合併し私立薬学校を設立、下山順一郎初代校長に就任
1917年(大正 6年)	専門学校令に基づく東京薬学専門学校を設立。東京薬学校を財団法人化する(私立薬学専門学校 第1号)丹波敬三初代校長兼理事長に就任
1929年(昭和 4年)	上野女子薬学校(1931年に東京薬学専門学校女子部に改称)を設立
1949年(昭和24年)	東京薬学専門学校・東京薬学専門学校女子部を併せ、学校教育法に基づく東京薬科大学を設立
1951年(昭和26年)	私立学校法による学校法人東京薬科大学設立認可
1963年(昭和38年)	大学院薬学研究科薬学専攻博士前期課程を設置
1965年(昭和40年)	大学院薬学研究科薬学専攻博士後期課程を設置
1976年(昭和51年)	八王子キャンパスに全学移転 専攻科医療薬学専攻(1年制)設置
1980年(昭和55年)	創立100周年
1994年(平成 6年)	生命科学部(分子生命科学科、環境生命科学科)を開設(日本初の生命科学部) 研究3号館(生命科学部研究棟)竣工
1998年(平成10年)	第1期生卒業「学士(生命科学)」 大学院生命科学研究所生命科学専攻博士前期課程を設置
2000年(平成12年)	第1期生「修士(生命科学)」誕生 大学院生命科学研究所生命科学専攻博士後期課程を設置
2001年(平成13年)	教育4号館(情報処理教育施設)竣工
2002年(平成14年)	第1期生「博士(生命科学)」誕生
2006年(平成18年)	学校教育法、薬剤師法の改正に基づき薬学部6年制に移行 医療薬学科、医療薬物薬学科、医療衛生薬学科を設置
2007年(平成19年)	生命科学部環境生命科学科を環境ゲノム学科に名称変更 大学基準協会「相互評価・認証評価」認定
2008年(平成20年)	生命科学部に2学科4コース(生命医科学、分子生物学、生態ゲノム学、環境フロンティア化学)制を導入 千代田サテライトキャンパス設置(東京通信病院内)
2010年(平成22年)	大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程を設置、学生会館竣工 創立130周年
2011年(平成23年)	研究4号館(130周年記念館)竣工
2012年(平成24年)	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程(4年制)を設置
2013年(平成25年)	生命科学部生命医科学科を設置、3学科制(分子生命科学科、応用生命科学科、生命医科学科)へ移行
2018年(平成30年)	生命科学部設立25周年
2020年(令和 2年)	創立140周年

履修要項

I 履修要項

1 教育制度

本学部における教育制度は、学年制を加味した単位制である。すなわち、1年間に修得した単位数が一定の基準に達しない場合は、次の年次（学年）に進むことができない。

2 授業科目

授業科目は総合科目、専門科目に大別され、各々必修科目および選択科目がある。それぞれの区分の中から規定に従って、決められた単位数を修得しなければならない。なお、この他に卒業要件に算入されない自由科目がある。授業科目の区分およびその履修年次、単位数は、生命科学部課程表（⇒P30～参照）に示してある。

3 授業時間

第 1 時 限	9:10～11:00	第 3 時 限	14:00～15:50
第 2 時 限	11:10～13:00	第 4 時 限	16:00～17:50

※ 原則として上記各時限110分につき5分間の休憩が設けられる。

※ 一部の講義においては上記以外の時間帯で行う。時間割表を確認すること。

4 科目の単位

各科目は原則として前期または後期に開講し、課程表のとおり単位数を認定する。

なお1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間以上の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間以上の授業をもって1単位とする。

5 卒業に必要な単位

4年以上在籍し、卒業に必要な単位数を修得した者に卒業が認められ、学士（生命科学）の学位が与えられる。卒業するために必要な単位は、総計124単位以上であり、次のように修得されていることが必要である*。

■分子生命科学科

卒業要件	総合科目	専門科目	合 計
必修科目	12単位	70単位	82単位
選択科目	18単位**	24単位 (学科指定単位4単位以上を含む)	42単位
合 計	30単位	94単位	124単位

■ 応用生命科学科

卒業要件	総合科目	専門科目	合計
必修科目	12単位	66単位	78単位
選択科目	18単位**	28単位 (学科指定単位4単位以上を含む)	46単位
合計	30単位	94単位	124単位

■ 生命医科学科

卒業要件	総合科目	専門科目	合計
必修科目	12単位	73単位	85単位
選択科目	18単位**	21単位 (学科指定単位4単位以上を含む)	39単位
合計	30単位	94単位	124単位

* 選択科目の必要単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として計算されない。

** Intermediate Academic English I または Advanced Academic English I から1単位選択必修

** Intermediate Academic English II または Advanced Academic English II から1単位選択必修

** Intermediate Academic English III または Advanced Academic English III から1単位選択必修

** Intermediate Academic English IV または Advanced Academic English IV から1単位選択必修

6 履修計画と履修申請

履修にあたっては、卒業または進級に必要な単位を考慮して方針を立てる。Webにより、指定された期日に履修申請をする。申請にあたっては慎重に科目を選び、正確に手続きすることが必要である。申請を行わない、または申請に誤りがある場合は、たとえ授業に出席し、その科目の試験を受験しても無効となる。

1) 履修申請についての注意

- 受け付けた申請を変更または履修取り下げする場合は、所定の期間に手続きをすること。
なお、所定の期間を過ぎてからは、履修申請の変更を認めない。
- 過去に認定された科目を再び履修することはできない。
- 特別奨学生候補者は、30単位以上（自由・教職科目を含む）を修得した者が選考対象となるので注意すること。

2) 履修申請の時期の注意

- 期限を過ぎると申請は受け付けられない。
- 科目によっては、下記以外の申請期間があるので掲示等をよく見ること。
- 選択履修の申請をした学生の員数が、開講可能な人員を超過した場合は、履修を許可しないこともある。

項目	時期	
前期科目	年度始め	指定された期間
通年科目		
後期科目	後期始め	

3) 各種提出書類等の締切について

- 提出締切日時を厳守の上、指定された提出先へ提出すること。
- 万一、提出締切に間に合わない場合は、事前に生命科学事務課に連絡すること。
- 締切に遅れた場合は所定の理由書を提出し、教務担当教授等により可否審査を受けることになる。この時、締切後の申請は受理されない場合がある。

4) 履修前提について

- 履修前提とは、各科目に設定されているその科目を履修するための前提条件である。履修前提を履行していない科目については履修申請を行えないため注意すること。
各科目の履修前提については、各学科課程表（P30～）または授業計画（P93～）を参照すること。

5) Gradeについて

Gradeでは、各科目の履修難易度を示している。

Grade 1 = 1年生対象科目

Grade 2 = 2年生対象科目

Grade 3 = 3年生対象科目

Grade 4 = 4年生対象科目

各Gradeに対応する年次で履修することが望ましいが、履修前提を満たしかつ原則在籍学年の一つ上のGradeの科目に限り、他のGradeの科目を履修することが可能である。

（例：1年次在籍中の学生は、Grade 3、Grade 4の科目について履修前提の有無に関わらず、履修できない。）

6) 履修単位数の上限（CAP制）について

- 以下のとおりとする。

学 年	2023年度以前入学生	2024年度以降入学生
1～3年次	前期18単位、 後期18単位の計36単位を上限とする。	前期20単位、 後期20単位の計40単位を上限とする。
4年次	通年で34単位を上限とする。	

- CAPの引き上げ：学期のGPA（Semester GPA）が基準の値を超えたものは、次の学期のCAPを以下のように引き上げる。

GPA 2.80以上：+1単位

GPA 3.00以上：+2単位

GPA 3.20以上：+3単位

GPA 3.40以上：+4単位

※教職に関する専門科目（各教科の指導法、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目。詳細はP48参照）、自由科目、およびEnglish and Life Sciences in the USA、インターンシップなど通常の授業期間以外に開講される科目はCAPに加算されない。

- 編入学生、転学部生はCAP上限を設けない。

7 試験の方法

各授業科目について、定期試験等により学業成績を考査する。合格した授業科目については、所定の単位の修得を認める。

単位認定に関する試験は、下表に示すものである。通年科目は前期・後期の所定の試験を必ず受験しなければならない。

■ 試験

区 分	内 容	受 験 資 格
定期試験 (前期・後期)	各期末に行う。	授業科目ごとに、授業実施時間数の3分の2以上の出席者。(学則第70条) 注1
追 試 験	定期試験を止むを得ない理由で欠席した者に行う(授業内に試験が実施された場合も同様)。 注2	欠席の理由が正当と認められた者(Webおよび掲示連絡)。 注3
再 試 験	定期試験を受験した結果、再試験を受ける必要のある者に対して行う。 注4	当該講義担当者の判断により受験を認められた者(TOYAKU UNIPA(旧:学生ポータル)ー成績照会にて確認)。
その他の試験	レポート等による試験・中間試験等	定期試験に同じ。

注1 受験停止: 授業出席回数の不足等により受験資格のない学生に対しては掲示等で連絡する。この場合、追試験・再試験の受験資格も失う。

注2 試験欠席届(追試験受験許可願): 定期試験を疾病その他止むを得ない理由で欠席した者は、試験期間終了翌日より3日以内(土日祝日および登校禁止日は除く)に、試験欠席届(追試験受験許可願)に診断書等の証明書を添付して生命科学事務課に届け出ること。授業内に試験が実施された場合も、同様に届け出ること。(詳細はP29を参照)

欠席理由と添付する証明書

理 由	添付する証明書
病 気	医師の診断書、病院・医院の領収書(処方薬の領収書は不可)
忌 引	会葬礼状
災 害(台風、水害、火災等)	官公庁による被災証明書
交通機関	交通機関等の証明書

注3 追試験を受験するには、所定の受験手続きを指定期日までに行わなければならない。(注2参照) 締切に遅れた場合は所定の理由書を提出し、教務担当教授等により可否審査を受けることになる。この時、締切後の申請は受理されない場合がある。

なお、あらかじめ生協で証紙(下記参照)を購入し、試験時に解答用紙等に証紙を貼付することとする。

注4 再試験は、受験を認められた者(Web参照)のみが受験できる。受験手続きは特に必要ないが、あらかじめ生協で証紙(下記参照)を購入し、試験時に解答用紙等に証紙を貼付することとする。

注5 試験日当日は、公共交通機関のダイヤの乱れを想定して、時間に余裕を持って早めに登校するように心掛けること。また、試験日当日に、公共交通機関の大幅な遅延や連休が発生した場合は、生命科学事務課に連絡すること(電話番号はP29に記載)。

注6 試験期間中に、不測の事態により、試験時間の繰り下げや試験日の変更をする場合もあるので、試験期間中(予備日も含む)は予定を入れないこと。

注7 追・再試験の追試験は実施しないので(大学が認める感染症による欠席は除く)、期間中は一層の体調管理に努めること。

■ 追・再試験受験料

生協レジ・購買カウンターで受験用証紙を購入

追 試 験	1科目	500円	再 試 験	1科目	1,000円
-------	-----	------	-------	-----	--------

受験の心得

受験者は下記の事項を守ること

- 不測の事態（電車遅延等）に備えて早めに登校すること。
- すべて試験監督者の指示に従うこと。
- 指定の場所に着席すること。
- 学生証は、机上の指定の場所に置くこと。
- 遅刻者は、試験開始後30分まで入場を認める（但し、終了時間の延長は認めない）。
- 試験開始から40分経過後は、監督者の許可により、退室をすることができる。
- 試験開始（問題配布）後に止むを得ない理由で退席する場合は、答案に学生番号・氏名を書いて提出すること。この場合は受験したものとみなし、追試験受験資格はない。
- チャイムは鳴らない。
- 机には学生証・鉛筆・消しゴム・鉛筆削り・特別許可があるもの以外は置いてはいけない。
- 教科書、参考書、ノート、電卓等の使用が許可されている場合でも、貸借は禁止する。
- 下敷・計算機つき時計・翻訳機能つき時計（スマートウォッチ等）の使用は禁止する。
- スマートフォン・携帯電話・時間確認以外の機能を持つスマートウォッチ等の電源を切ってカバンの中に入れること。
- これらがカバンの中以外で発見された場合、不正行為とみなす。
- カバンを閉じ椅子の下に置くこと。
- 答案に学生番号や氏名のないものは無効とする。
- 白紙の答案でも学生番号と氏名を書き、必ず提出すること。
- 退場の際は、答案を試験監督者に提出すること。
- 答案を試験場から持ち出さないこと。
- 受験中に不正行為が認められた場合には、監督者は直ちに答案を回収し、退場を命ずる。この場合、その期間中の試験は全て無効となり、当該試験期間の追・再試験受験資格もない。
- 悪天候等不測の事態により日程が変わる場合があるので、試験期間中（予備日を含む）は他の予定を入れないこと。

8 レポート提出

次の事項を厳守すること。

- (1) 提出締切日時を厳守すること。
- (2) 表紙をつけて、科目名、講義担当者名および提出者自身の学年、学科名、学生番号、氏名を明記すること。
- (3) 必ずホチキス等で綴じて提出すること。
- (4) 事務課へ提出する場合は、その旨掲示するのでその指示に従うこと。
- (5) 一度提出したレポートの変更、訂正は認めない。提出前に十分に注意すること。
- (6) 他人のレポートからの盗用を禁止する。また、レポートの代筆は、不正行為とみなす。書物あるいはインターネットからの引用の場合は、出典を明記すること。
- (7) Codexによるレポート提出の場合は、提出方法を確認すること。(P71～72参照)

9 履修認定 (本学部の授業以外における学習)

下記(1)～(12)の資格を既に有するか、在学中に取得した場合は、対応する授業科目を履修したものとみなして単位を認定(評価は「S」となる)もしくは、授業の一部について出席を免除することがある。なお、対象とする基準は年度毎に見直すことがある(学則第70条参照)。

■ 履修認定の該当者

- 講義担当者に申し出ること。
- 生命科学事務課に証明書を提出すること。

資 格			対応する授業科目
(1)	実用英語技能検定試験	準1級以上	Basic Academic English I～IV
(2)	TOEIC (IPを含む)	745点以上	
(3)	TOEFL (PBT又はITP)*1	570点以上*2	
(4)	ドイツ語技能検定試験	4級以上	言語と文化I (ドイツI) および 言語と文化II (ドイツII)
(5)	実用フランス語技能検定試験	4級以上	言語と文化III (フランスI) および 言語と文化IV (フランスII)
(6)	中国語検定試験	4級以上	言語と文化V (中国I) および 言語と文化VI (中国II)
(7)	中国語コミュニケーション能力検定試験	380点以上	
(8)	H S K	3～6級	
(9)	第1種放射線取扱主任者試験	合格者	放射化学および「生命科学Ⅲ(放射線生物影響論)」
(10)	知的財産管理技能検定	2級	生命科学知財論
(11)	統計検定	準1級以上	生物統計学
(12)	バイオインフォマティクス技術者認定試験	合格	分子生命科学VI (バイオインフォマティクス)

*1 ただし、オンラインで行われるTOEIC-IPをのぞく

*2 TOEFL iBT: 80点以上

10 学業成績

成績の表示は下表に示す通りである。

成績	合・否等	単位修得・単位未修得
S	合格	該当科目の単位修得
A		
B		
C		
D*	不合格	該当科目の単位未修得
E*	未履修扱い	
P	合格	該当科目の単位修得 (English and Life Science in the USA)
R	認定	学則第70条2項による単位修得
K*	試験欠席 (追・再試験後に評価が決定)	定期試験・期間外試験を欠席した場合は、追試験前の成績発表時に「K」と表示される。 追試験受験を許可された者のみ、追試験を受験することができる。
L*	評価保留 (追・再試験後に評価が決定)	再試験を実施する等により評価が決定する。 詳細はP19「 7 試験の方法」を参照すること。

* 成績通知書にのみ反映され、成績証明書には反映されない。

1) 学修成果の評価

成績については、「授業計画」(シラバス)に記載された各科目の「到達目標」に対する到達度に応じて、以下の通り評価する。

- S=到達度90%以上、A=到達度80～90%未満、B=到達度70～80%未満、
- C=到達度60～70%未満、D=到達度60%未満

2) 学業成績についての注意

すでに修得した科目について、これを取り消す、または再履修によりその評価を変えることはできない。

3) 成績通知書

前期：8月(Web発表) および9月(アドバイザーから配付およびWeb発表)、保証人へ郵送(9月)

後期：2月(Web発表) および3月(アドバイザーから配付およびWeb発表)、保証人へ郵送(3月)

※進級基準を満たさなかった学生や前期中に修得単位数が少なかった学生に対しては、成績配付時等にアドバイザーより成績不振に関する指導を行う場合がある。

進級基準についてはP24「[12](#)年次進級の判定」を参照。

11 GPAについて

1) GPAの算出方法

GPA (Grade Point Average) とは、各科目の成績から算出した成績評価値のことである。
GPA対象科目の成績評価を

S = 4点、A = 3点、B = 2点、C = 1点、D = 0点

として評価点に換算し、「評価点に単位数を乗じたものの総和」を「履修したGPA対象科目の単位数の総和」で割ることにより算出する。

GPAには、学期毎のSemester GPA、年度毎のAcademic-Year GPAと、通算のCumulative GPAがある。Cumulative GPAにおいては、一度不合格となった科目は再履修によって合格した場合でも過去のD評価が累積して算出される。

2) GPAの対象となる科目

GPA対象となる科目は、総合・専門科目（必修・選択科目）であり、かつ次の科目群を除く科目である。

- 自由科目
- 教職に関する専門科目（各教科の指導法、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目、大学が独自に設定する科目）

また、GPA対象科目であっても成績表にS、A、B、C、D以外の記号で成績が記載されている場合、すなわち、正式な手続きにより履修放棄した科目や、合否のみ（Pの記号）で評価される科目、他大学における履修で認定を受けた科目、その他本学部で規定する科目は、GPAの算出から除外される。

3) GPAの活用法

- 一部科目についてはGPAを履修の前提とする（生命科学特別演習Ⅰ～Ⅳなど）。
詳細は「Ⅱ 生命科学部 課程表（P30～）」を参照。
- GPAによるCAPの引き上げを行う。詳細は「履修単位数の上限（CAP制）について」を参照。
- 特別奨学生候補者の選考の際利用することがある。
- 成績不振者に対する個別学習指導を行う際、GPAを活用する。成績不振に値するGPAの基準はSemester GPA 1.0未滿とする。

12 年次進級の判定

次の基準を満たした場合、進級することができる。

■進級基準（編入学生、転学部生に関しては別に定める）*1

1年次	<p>卒業に必要な単位*1のうち30単位以上が修得済み、かつ、以下の科目をすべて修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学科別生命科学ゼミナール（1単位）*2 • 生命科学と社会Ⅰ（大学入門）（2単位） • 基礎生命科学実習Ⅰ（化学）（1単位） • 基礎生命科学実習Ⅰ（物理）（1単位） • 基礎生命科学実習Ⅰ（生物）（1単位）
2年次	<p>卒業に必要な単位*1のうち62単位以上が修得済み、かつ、以下の科目をすべて修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基礎生命科学実習Ⅱ（2単位） • 基礎生命科学実習Ⅲ（2単位）
3年次*4	<p>卒業に必要な単位*1のうち94単位以上が修得済み、かつ、以下の科目をすべて修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生命科学実習（3単位） • 学科別生命科学実習（2単位）*3

- * 1 卒業に必要な単位についてはP16「[5]卒業に必要な単位」を参照すること。
- * 2
- 分子生命科学科所属の学生においては「分子生命科学ゼミナール」とする。
 - 応用生命科学科所属の学生においては「応用生命科学ゼミナール」とする。
 - 生命医科学科所属の学生においては「生命医科学ゼミナール」とする。
- * 3
- 分子生命科学科所属の学生においては「分子生命科学実習」とする。
 - 応用生命科学科所属の学生においては「応用生命科学実習」とする。
 - 生命医科学科所属の学生においては「生命医科学実習」とする。
- * 4 編入学生、転学部生の3年次進級基準 卒業に必要な単位*1のうち92単位以上が修得済みであること。また実習科目の全ての単位数を修得していること。

■仮進級について

各学年の実習の単位を修得できなかった場合は、次の年次に進ませないことを原則とするが、教授会の議を経て仮進級させることがある。この場合には追実習によって短期間に単位を修得できることを前提とする。

■年次進級の判定についての注意

4年次は、卒業論文に全力を尽くせるよう、3年次までに計画的に履修すること。

進級発表：年次進級者は3月下旬にWebおよび掲示で発表される。

13 科目別授業内容（シラバス）について

- (1) P93～の「授業計画」を参照すること。
- (2) 本学のウェブサイトから閲覧することもできる。
(<https://www.toyaku.ac.jp/lifescience/about/curriculum/syllabus.html>)
- (3) 「課程表」についてはこの冊子のP30～を参照すること。
- (4) 授業に関する質問や相談については、別途周知する「オフィスアワー」一覧を確認すること。応対方法、対応可能時間等が掲載されている。

14 転学部制度について

- (1) 学則第16条により、本学学部生が転学部を志願する場合は、学長が定める期間に、生命科学部長の署名押印した出願書類を薬学事務課に提出しなければならない。
- (2) 転学部の時期は4月とし、薬学部1年次、生命科学部3年次に受入れとなる。
- (3) 転学部実施については、公示する。実施の有無は毎年学部で決定する。
- (4) 申請方法及び審査等詳細は、TOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）及び掲示にて知らせる。
- (5) 一度転学部した学生が、再度転学部することはできない。

15 転科について

- (1) 学則第78条により、他の学科に転科を希望する場合は、学部長が定める期間に、保証人と学生が連署捺印した転科申請書及び理由書を、生命科学事務課を経て学部長に提出しなければならない。
- (2) 転科の時期は3年次進級時とする。
- (3) 審査は書類審査（1・2年次の成績、理由書等）及び面接を行い、教授会で総合的に判断する。
- (4) 11月1日現在において、別に定める成績の要件を満たすことを条件に許可する。
- (5) 申請方法等詳細は、12月中旬にWebおよび掲示にて知らせる。
- (6) 募集定員は各学科最低1名とする。なお、11月1日現在の在籍人数により、微調整を加えることがある。

※注 転科の資格に関する成績要件は次のとおりとする。

- 2年次修了時において、転科先の学科の進級要件を満たすこと。
- 2年次11月1日時点において通算GPA「2.30」以上であること。
- 希望者多数により、全員の転科を許可することが不可能な場合は、GPA上位者を優先することを原則に調整を行う。

16 大学院飛び入学制度について

3年次までに優秀な成績を修めた学生は、4年から大学院への飛び入学が可能である。

3年次の4月頃説明会を行う予定である。

詳細は、別途周知する。

17 卒論研究室配属

- (1) 学生の希望をもとにして卒論研究室の配属を決定する。
- (2) 卒論研究室配属についての説明、Web申請は3年次後期に行う。

18 伝達の方法

学生への通知や連絡は、すべて生命科学事務課前の掲示板またはTOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）によって行う。

1) 学年別（一般）掲示

- 学生への公示、告示、修学に必要な事項の伝達は主として掲示板またはTOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）による。

2) 休講掲示

- 講義担当者より連絡があり次第、掲示板に掲示する。
- 休講、補講等についてはTOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）でも通知する。
- 授業開始時刻から10分を過ぎても講義担当者から連絡がない場合は、生命科学事務課に問い合わせること。30分過ぎても講義担当者が授業を開始できない場合は休講とし、後日補講を行うこととする。

3) 教職に関する掲示

- 教職関係掲示板またはTOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）に掲示するので、一般の掲示板同様に確認すること。
- 学年を問わず掲示するので注意すること。

■ 伝達の方法についての注意

掲示の見落としは不利を招くので、登学の際には必ず掲示を見る習慣をつけること。

19 卒業論文研究における基本方針

- (1) 卒業論文研究を行うことは学生の皆さんの権利です。各教員は本権利を尊重し、ディプロマ・ポリシーに基づいて卒業論文研究指導を行います。
また、各教員は学生が希望する進路に進めるように、就職活動・大学院入試と卒業論文研究が両立できるように支援します。
- (2) 生命科学特講Ⅰ・Ⅱ、ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業論文研究で20単位が与えられています。学習時間や出席日数、到達度など規定の基準を達成していることを前提とし、他の科目と同様な単位判定を行います。

20 悪天候、災害および交通機関が不通の場合の授業措置

暴風雨・雪などの悪天候および災害、公共交通機関の事故等が発生したときの対応は、学長が次の基準に基づき検討する。結果は「生命科学事務課掲示板」および「TOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）」で発表するので、自己判断せずに、必ずいずれかで確認すること。

※下記は、休講措置の判断基準であり、状況により必ずしも下記のとおり対応とならない場合もある。

1) 気象警報発令

東京23区東部・西部及び多摩北部・西部・南部のいずれかに気象警報が発令された場合。

- (1) 午前6時現在において警報が発令されている場合は、午前中開始の授業を休講。
- (2) 午前10時現在において警報が発令されている場合は、終日休講。

2) 大規模地震の警戒宣言発令

大規模地震の警戒宣言が発令された場合。

- (1) 午前6時現在において発令が解除されていない場合は、午前中開始の授業を休講。
- (2) 午前10時現在において発令が解除されていない場合は、終日休講。

3) ストライキ、災害、公共交通機関の事故等

ストライキ、災害、公共交通機関の事故等で、JR中央線（東京－高尾間）または京王線（本線、相模原線）が運休された場合。

- (1) 午前6時現在において運休の場合は、午前中開始の授業を休講。
- (2) 午前10時現在において運休が解除されていない場合は、終日休講。

4) その他

- (1) 上記以外にも、授業実施時間の変更または休講の取扱いをすることがある。
- (2) 定期試験および追・再試験についても、上記基準に準じる。なお、中止となった試験は延期し、後日に実施する。

21 各種証明書発行

	証明書	手数料	発行
学部	在学証明書	300円	自動発行機
	成績証明書	300円	自動発行機
	卒業見込証明書 注1	300円	自動発行機
	卒業証明書	300円	自動発行機
	教職関係証明書	500円	生命科学事務課
	英文証明書 (成績証明書・卒業証明書)	300円	自動発行機
	特殊証明書	500円	生命科学事務課
	調査書	500円	生命科学事務課
大学院	在学証明書	300円	自動発行機
	単位修得証明書	300円	自動発行機
	修了見込証明書 注2	300円	自動発行機
	修了証明書	300円	自動発行機
	英文証明書 (在学・単位修得・修了見込)	300円	自動発行機
	特殊証明書	500円	生命科学事務課

注1 4年次進級より発行機で発行できる。

注2 2年次進級より発行機で発行できる。

注3 発行手数料は改定する場合がある。

1) 証明書自動発行機

学生会館2F (談話室) に設置されている。

稼働時間…平日 8:45～19:00、土曜日 8:45～17:00

* 夏期休暇等、時期によっては使用できないことがある。

稼働時間の変更および発行停止期間等は掲示により通知する。

2) 生命科学事務課より発行するには

(1) 自動発行機にて手数料金額相当の申込書 (証明書交付願) を購入する。

(2) 必要事項を記入して生命科学事務課へ提出する。

* 発行日数

• 通常は申請日より3日後 (土日祝含まず)

• 特殊証明書は申請日より10日後

3) 各種証明書発行についての注意

(1) 証明書の発行には学生証が必要となる。

(2) 同一人物であっても、学部および大学院では学生番号が異なるので、それぞれの番号で申請すること。

(3) 自動発行機で発行した証明書の厳封を希望する場合は生命科学事務課へ証明書を持参し申し出ること。

(4) その他発行方法等詳細は本学関連HPを参照すること。

<https://www.toyaku.ac.jp/campus/certificate/new-enrolled/>

22 欠席について

状 況	提出類	提出方法	提出フォーマット・提出にあたっての注意事項	提出先
講義・実習等を欠席した場合	欠席届 疾病、その他の理由で欠席した場合 (20日未満)	メールによる提出	【提出フォーマット】 以下を全てメールの件名・本文に記載して提出先へメール送付すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・件名：「生命科学部講義の欠席届の提出について」 ・学生番号 ・氏名 ・欠席理由 ・欠席日・授業科目・担当教員名 ・メール添付書類（欠席事由を証明できる書面（医師の診断書、病院・医院の領収書（処方薬の領収書は不可）） 【提出にあたっての注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・実習を欠席した場合は当日までに実習準備室に電話連絡し（連絡先はP29参照）、指示を受けること。 ・欠席日数が7日以上の場合、自身のアドバイザーへもフォーマットの内容を連絡すること。 	講義担当者もしくは実習担当者
	忌引届 服喪で欠席した場合	メールによる提出	【提出フォーマット】 以下を全てメールの件名・本文に記載して提出先へメール送付すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・件名：「生命科学部講義の忌引届の提出について」 ・学生番号 ・氏名 ・理由 ・欠席日・授業科目・担当教員名 ・メール添付書類（会葬礼状等理由を証明する書面） 【提出にあたっての注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・自身のアドバイザーへもフォーマットの内容を連絡すること。 ・欠席に算入されない服喪日数は以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> ①父母：7日以内（土日祝日含む連続した日） ②祖父母・兄弟姉妹：5日以内（土日祝日含む連続した日） ③その他届出により大学が正当と認めた場合（土日祝日含む連続した日） ※父母が亡くなった場合は、学生サポートセンター（042-676-8978）に連絡すること。 	
	長期欠席届 (20日以上3ヶ月未満)	書類による提出	【提出フォーマット】 書類を配布する。詳細は生命科学事務課に問い合わせること。 【提出にあたっての注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず、連続して20日以上3ヶ月未満欠席する場合に提出すること。 ・3ヶ月以上欠席する場合は、「休学願」を生命科学事務課に提出すること。 	生命科学事務課 042-676-8792

状 況	提出類	提出方法	提出フォーマット・提出にあたっての注意事項	提出先
定期試験を 欠席した場合	試験欠席届 (追試験 受験許可願) 疾病その他 やむを得ない理由で欠 席した場合	メールに よる連絡 (電子申請 書の提出)	【提出フォーマット】 電子申請書をTOYAKU UNIPA (旧：学生ポータル) で定期試験期間前に配布・掲示する。 【提出にあたっての注意事項】 添付書類：欠席事由を証明できる書類 (医師の診断書、病院・医院の領収書 (処方薬の領収書は不可)) 提出期限：試験期間終了翌日より3日以内 (土日祝日および登校禁止日を除く) に提出すること (⇒詳細はP19参照)。	生命科学 事務課 042-676-8792

※欠席日数に算入されない欠席 (「公欠」) は以下のとおりとする。

- ・2親等以内の葬儀に関する忌引
 - ・学校保健安全法に基づく出席停止等による欠席
- 公欠の場合は、別途修学の機会を欠席した講義の担当者が設ける。

※提出方法が「メール連絡」の場合、必ず本学メールシステムから提出すること。また各講義担当者・実習担当者の連絡先メールアドレスは別途TOYAKU UNIPA (旧：学生ポータル) で周知するオフィスアワーを参照すること。

※欠席を証明する書面について、メールへの添付が差支えのある場合は郵送等での提出でも可とする、郵送等で提出する場合は生命科学事務課に別途相談すること。

※インフルエンザ・新型コロナウイルスに罹患した場合は、所定の「報告フォーム」より報告。それ以外の学校保健安全法に基づく感染症に罹患した場合は、「登校許可証明書」を保健室に提出すること。報告方法など詳細については、本学のホームページ「キャンパス・学生生活」より「感染症罹患報告」を参照してください。

23 連絡先

連 絡 先			受付時間
実 習 室	教育3号館G階実習室 (実習準備室)	TEL. 042-676-5427	8:45 ~ 17:00
	研究4号館1階実習室 (実習準備室)	TEL. 042-676-5174	
生命科学事務課		TEL. 042-676-8763 042-676-8781 042-676-8792 FAX. 042-676-5351	8:45 ~ 17:00 Emailの場合は大学HPのお問い合わせフォームから。
保 健 室		TEL. 042-676-8879	

Ⅱ 生命科学部 課程表 (2020年度以降入学生用)

1 分子生命科学科

必修科目

区分	授 業 科 目	grade・単位数				備考	履 修 前 提				
		1年	2年	3年	4年						
		前:後	前:後	前:後	前:後						
総合科目	分子生命科学ゼミナール	1									
	生命科学と社会Ⅰ (大学入門)	2									
	情報科学Ⅰ	1									
	Basic Academic EnglishⅠ	1									
	Basic Academic EnglishⅡ	1									
	Basic Academic EnglishⅢ		1								
	Basic Academic EnglishⅣ		1								
	English for ScienceⅠ			1							
	English for ScienceⅡ				1						
	生命と倫理					2	4年生				
総 計		6	2	0	0	1	1	0	2	計12	
専門科目	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)		1								
	基礎生命科学実習Ⅰ (物理)		1								
	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)		1								
	分子生命科学概論	1									
	数 学Ⅰ	2									
	物 理 学	2									
	化 学	2									
	生物無機化学		2								
	有機化学Ⅰ		2								
	有機化学Ⅱ		2								
	生 物 学		2								
	生 化 学Ⅰ		2								
	分子生物学Ⅰ		2								
	微 生 物 学		1								
	基礎生命科学実習Ⅱ			2							2年生
	基礎生命科学実習Ⅲ			2							2年生
	生 物 統 計 学			2							
	生 化 学Ⅱ			2							
	分子生物学Ⅱ			2							
	遺 伝 子 工 学				2						
	分子細胞生物学Ⅰ			2							
	分子細胞生物学Ⅱ			2							
	生 理 学			2							
	生命科学実習				3						3年生
	分子生命科学実習					2					3年生
	神 経 生 物 学					2					
	食 品 衛 生 学					2					
	卒業論文研究						16	通年			4年生
	生命科学特講Ⅰ						1				4年生
	生命科学特講Ⅱ							1			4年生
ゼミナールⅠ							1			4年生	
ゼミナールⅡ								1		4年生	
総 計		11	12	12	6	3	6	18	2	計70	

自由科目

区分	授業科目	単位数	備考
自由科目	初等物理学	1	1年次前期にリメディアル科目として開講 CAP対象外、GPA計算対象外
	初等生物学	1	

※初等化学（1単位）及び初等数学（1単位）は未開講

《卒業・進級基準について》

修得した科目を課程表等で確認し、下記の表に修得済み単位数を記入して、【 】の卒業・進級基準を満たすよう留意すること。

年次	①必修科目	選択科目 ※右下の数値を超えて修得した単位は、 卒業基準および各学年の進級基準対象単位 として計算しないため注意すること。			卒業・進級基準 対象単位計 ①+②+③+④	進級要件科目 ※詳細はP24 「年次進級の判定」を参照
		②総合科目	③専門指定科目 4単位を超えた 分は指定外科目 に加算すること。	④専門指定外 科目		
1年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 20	【30単位以上】	【進級基準要件科目】 ・分子生命科学ゼミナール ・生命科学と社会Ⅰ（大学入門） ・基礎生命科学実習Ⅰ（化学） ・基礎生命科学実習Ⅰ（物理） ・基礎生命科学実習Ⅰ（生物）
2年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 20	【62単位以上】	【進級基準要件科目】 ・基礎生命科学実習Ⅱ ・基礎生命科学実習Ⅲ
3年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 20	【94単位以上】	【進級基準要件科目】 ・生命科学実習 ・分子生命科学実習
4年次 (卒業)	【82単位】	【18単位以上】	【24単位以上（指定科目4単位以上を含む）】	【124単位以上】	-	

- ・1年間に履修できる単位数の上限はP18「履修単位数の上限（CAP制）」についてを参照。
- ・4年次は、卒業論文に全力を尽くせるよう、3年次までに計画的に履修すること。

選択科目

履修要項

区分	授 業 科 目	grade・単位数				備考	履 修 前 提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
総 合 科 目	情報科学Ⅱ		1				★
	法 学 (日本国憲法)		2				★
	人間科学Ⅰ (教育学)	1					
	スポーツⅠ	1					★
	ICT活用の理論と実践		1				★CG
	Intermediate Academic EnglishⅠ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅡ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅢ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅣ			1			◇
	English and Life Science in the USA			2			通年CG
	生命科学と社会Ⅱ (演習)		1				C
	生命科学と社会Ⅲ (卒業生に学ぶ未来)			1			
	情報科学Ⅲ		1				
	言語と文化Ⅰ (ドイツⅠ)		1				
	言語と文化Ⅱ (ドイツⅡ)			1			言語と文化Ⅰの修得
	言語と文化Ⅲ (フランスⅠ)		1				※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅳ (フランスⅡ)			1			言語と文化Ⅲの修得 ※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅴ (中国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅵ (中国Ⅱ)			1			言語と文化Ⅴの修得
	言語と文化Ⅶ (韓国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅷ (韓国Ⅱ)			1			言語と文化Ⅶの修得
	哲 学		2				
	科 学 史		2				
	人間科学Ⅱ (外国文学)		1				未
	スポーツⅡ			1			★ 2年生
	地 学			1			★
	地学実習			1			★
	教育原理		2				★CG 教職課程履修者
	教育行政学		2				★CG 教職課程履修者
	人間科学Ⅲ (経済学)			1			
	生命科学と社会Ⅶ (サイエンスコミュニケーション)			1			
	Advanced Academic EnglishⅠ				1		◇ Intermediate AEⅠの修得。※Basic AEⅠの成績がSの場合、Intermediate AEⅠに代えて履修
Advanced Academic EnglishⅡ				1		◇ Intermediate AEⅡの修得。※Basic AEⅡの成績がSの場合、Intermediate AEⅡに代えて履修	
Advanced Academic EnglishⅢ				1		◇ Intermediate AEⅢの修得。※Basic AEⅢの成績がSの場合、Intermediate AEⅢに代えて履修	
Advanced Academic EnglishⅣ				1		◇ Intermediate AEⅣの修得。※Basic AEⅣの成績がSの場合、Intermediate AEⅣに代えて履修	
生命科学と社会Ⅳ (応用演習)			1				
生命科学と社会Ⅴ (開発・起業企画)				1			
生命科学と社会Ⅵ (Global Perspective)				1			
インターンシップ				1		通年C	
生命科学知財論				2		3年生	
人間科学Ⅳ (Cultural Diversity)			1				
人間科学Ⅴ (環境経済学)			1				
教育心理学			1			★CG 教職課程履修者	
総 計		2:4	19:12	7:6	0:0	計50	

計18単位以上修得すること ★:教職課程履修者は必ず履修すること。◇:英語選択必修 C:CAP対象外 G:GPA計算対象外 未:未開講
Intermediate AEⅠまたは Advanced AEⅠから1単位選択必修。Intermediate AEⅡまたは Advanced AEⅡから1単位選択必修。
Intermediate AEⅢまたは Advanced AEⅢから1単位選択必修。Intermediate AEⅣまたは Advanced AEⅣから1単位選択必修。

選択科目

区分	授 業 科 目	grade・単位数				備考	履 修 前 提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
専 門 科 目	数 学 II		2				
	生 命 物 理 学		2				
	放 射 化 学		1				
	応用生命科学Ⅰ (多様性生物学)		1				
	生命医科学Ⅰ (生命医科学特講Ⅰ)	1					
	生命医科学Ⅱ (解剖生理学)		1				
	生 命 科 学 I (地球環境論)		1				
	生命科学特別演習Ⅰ		1			*	2年生, 直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習Ⅱ			1		*	2年生, 直前のSemester GPA 2.80以上
	分 析 化 学		2				
	物 理 化 学			2			
	生 態 学			2			
	創 業 概 論			2			
	分子生命科学Ⅰ (生物有機化学)		1			☆	
	分子生命科学Ⅱ (天然医薬品化学)		1			☆	
	応用生命科学Ⅱ (植物生理学)		1				
	応用生命科学Ⅲ (応用食品科学)			1			
	応用生命科学Ⅳ (資源生物工学)			1			
	生 命 科 学 IV (基礎情報学)			1			
	生 命 科 学 VI (応用統計学)			1			
	生命科学ゼミナールⅠ		1			*	
	生命科学ゼミナールⅡ			1		*	
	生命科学特別演習Ⅲ			1		*	3年生, 直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習Ⅳ				1	*	3年生, 直前のSemester GPA 2.80以上
	免 疫 学				2		
	発 生 生 物 学				2		
	薬 理 学 概 論			2			
	分子生命科学Ⅲ (細胞の物理生物学)			1		☆	
	分子生命科学Ⅳ (医薬品合成化学)			1		☆	
	分子生命科学Ⅴ (生命計測化学)			1		☆	
	分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマティクス)			1		☆	
	分子生命科学Ⅶ (ケミカルバイオロジー)				1	☆	
	分子生命科学Ⅷ (生体物質分析化学)				1	☆	
	分子生命科学Ⅸ (医薬品化学)				1	☆未	※2025年度開講予定
	応用生命科学Ⅴ (応用微生物学)			1			
	応用生命科学Ⅵ (環境生理学)			1			
	応用生命科学Ⅶ (環境生態学)			1			
	応用生命科学Ⅷ (蛋白質工学)			1			
	応用生命科学Ⅸ (ゲノム進化学)				1		
	応用生命科学X (ECO-TOPインターンシップⅠ)			1		C	応用生命科学Ⅺと同時履修, 2021年度以降入学生 2024年度以降入学の分子生命科学科, 生命医科学科は履修不可
応用生命科学Ⅺ (ECO-TOPインターンシップⅡ)				1	C	応用生命科学Ⅹと同時履修, 2021年度以降入学生 2024年度以降入学の分子生命科学科, 生命医科学科は履修不可	
生命医科学Ⅲ (生命医科学特講Ⅱ)			1				
生命医科学Ⅳ (発生再生医学)				1			
生命医科学Ⅴ (腫瘍医科学)				1			
生命医科学Ⅵ (分子病理学)			1				
生命医科学Ⅶ (代謝医科学)				1			
生命医科学Ⅷ (感染医科学)				1			
生命医科学Ⅸ (ゲノム医科学)				1			
生命医科学Ⅹ (ゲノム情報医科学)				1			
生命科学Ⅱ (行動神経生物学)			1				
生命科学Ⅲ (放射線生物影響論)				1			
生命科学Ⅴ (計算機の論理とデータ構造)				1			
生命科学Ⅶ (アドバンス薬理学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学Ⅷ (アドバンス薬剤学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学ゼミナールⅢ				1	*		
生命科学ゼミナールⅣ (英語で学ぶ生命科学)				1			
総 計		1 : 8	7 : 12	19 : 18	0 : 0	計65	

〈学科指定選択科目 4 単位以上を含む24単位以上を取得すること〉

☆: 学科指定選択科目 C: CAP対象外 未: 未開講

* 2024年度以降入学者: CAP対象外 / GPA計算対象外、2023年度以前入学者: CAP対象 / GPA計算対象

履
修
要
項

2 応用生命科学科

必修科目

区分	授業科目	grade・単位数				備考	履修前提				
		1年	2年	3年	4年						
		前:後	前:後	前:後	前:後						
総合科目	応用生命科学ゼミナール	1									
	生命科学と社会Ⅰ(大学入門)	2									
	情報科学Ⅰ	1									
	Basic Academic EnglishⅠ	1									
	Basic Academic EnglishⅡ	1									
	Basic Academic EnglishⅢ	1									
	Basic Academic EnglishⅣ	1									
	English for ScienceⅠ			1							
	English for ScienceⅡ				1						
	生命と倫理					2	4年生				
総計		6	2	0	0	1	1	0	2	計12	
専門科目	基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	1									
	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	1									
	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	1									
	応用生命科学概論	1									
	数学Ⅰ	2									
	物理学	2									
	化学	2									
	生物無機化学		2								
	有機化学Ⅰ	2									
	生物学	2									
	生化学Ⅰ		2								
	分子生物学Ⅰ		2								
	微生物学	1									
	基礎生命科学実習Ⅱ			2							2年生
	基礎生命科学実習Ⅲ				2						2年生
	生物統計学			2							
	分析化学			2							
	生化学Ⅱ			2							
	分子生物学Ⅱ			2							
	遺伝子工学				2						
	分子細胞生物学Ⅰ			2							
	生態学				2						
	生命科学実習					3					3年生
	応用生命科学実習						2				3年生
	食品衛生学						2				
	卒業論文研究							16:	通年		4年生
生命科学特講Ⅰ							1			4年生	
生命科学特講Ⅱ								1		4年生	
ゼミナールⅠ								1		4年生	
ゼミナールⅡ									1	4年生	
総計		11	10	12	6	3	4	18	2	計66	

自由科目

区分	授業科目	単位数	備考
自由科目	初等物理学	1	1年次前期にリメディアル科目として開講 CAP対象外、GPA計算対象外
	初等生物学	1	

※初等化学（1単位）及び初等数学（1単位）は未開講

《卒業・進級基準について》

修得した科目を課程表等で確認し、下記の表に修得済み単位数を記入して、【 】の卒業・進級基準を満たすよう留意すること。

年次	①必修科目	選択科目 ※右下の数値を超えて修得した単位は、 卒業基準および各学年の進級基準対象単位 として計算しないため注意すること。			卒業・進級基準 対象単位計 ①+②+③+④	進級要件科目 ※詳細はP24 「年次進級の判定」を参照
		②総合科目	③専門指定科目 4単位を超えた 分は指定外科目 に加算すること。	④専門指定外 科目		
1年次 (進級)		／ 18	／ 4	／ 24	【30単位以上】	【進級基準要件科目】 ・応用生命科学ゼミナール ・生命科学と社会Ⅰ（大学入門） ・基礎生命科学実習Ⅰ（化学） ・基礎生命科学実習Ⅰ（物理） ・基礎生命科学実習Ⅰ（生物）
2年次 (進級)		／ 18	／ 4	／ 24	【62単位以上】	【進級基準要件科目】 ・基礎生命科学実習Ⅱ ・基礎生命科学実習Ⅲ
3年次 (進級)		／ 18	／ 4	／ 24	【94単位以上】	【進級基準要件科目】 ・生命科学実習 ・応用生命科学実習
4年次 (卒業)	【78単位】	【18単位以上】	【28単位以上（指定科目4単位以上を含む）】	【124単位以上】	-	

- ・1年間に履修できる単位数の上限はP18「履修単位数の上限（CAP制）」についてを参照。
- ・4年次は、卒業論文に全力を尽くせるよう、3年次までに計画的に履修すること。

選択科目

履修要項

区分	授 業 科 目	grade・単位数				備考	履 修 前 提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
総 合 科 目	情報科学Ⅱ		1				★
	法 学 (日本国憲法)		2				★
	人間科学Ⅰ (教育学)	1					
	スポーツⅠ	1					★
	ICT活用の理論と実践		1				★CG
	Intermediate Academic EnglishⅠ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅡ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅢ			1			◇
	Intermediate Academic EnglishⅣ			1			◇
	English and Life Science in the USA			2			通年CG
	生命科学と社会Ⅱ (演習)		1				C
	生命科学と社会Ⅲ (卒業生に学ぶ未来)			1			
	情報科学Ⅲ		1				
	言語と文化Ⅰ (ドイツⅠ)		1				
	言語と文化Ⅱ (ドイツⅡ)			1			言語と文化Ⅰの修得
	言語と文化Ⅲ (フランスⅠ)		1				※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅳ (フランスⅡ)			1			言語と文化Ⅲの修得 ※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅴ (中国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅵ (中国Ⅱ)			1			言語と文化Ⅴの修得
	言語と文化Ⅶ (韓国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅷ (韓国Ⅱ)			1			言語と文化Ⅶの修得
	哲 学		2				
	科 学 史		2				
	人間科学Ⅱ (外国文学)		1				未
	スポーツⅡ			1			★
	地 学			1			★
	地学実習			1			★
	教育原理		2				★CG
	教育行政学		2				★CG
	人間科学Ⅲ (経済学)			1			
	生命科学と社会Ⅶ (サイエンスコミュニケーション)			1			
	Advanced Academic EnglishⅠ				1		◇
	Advanced Academic EnglishⅡ				1		◇
Advanced Academic EnglishⅢ				1		◇	
Advanced Academic EnglishⅣ				1		◇	
生命科学と社会Ⅳ (応用演習)			1				
生命科学と社会Ⅴ (開発・起業企画)				1			
生命科学と社会Ⅵ (Global Perspective)				1			
インターンシップ				1		通年C	
生命科学知財論				2		3年生	
人間科学Ⅳ (Cultural Diversity)			1				
人間科学Ⅴ (環境経済学)			1				
教育心理学			1			★CG	
総 計		2:4	19:12	7:6	0:0	計50	

計18単位以上修得すること ★:教職課程履修者は必ず履修すること。◇:英語選択必修 C:CAP対象外 G:GPA計算対象外 未:未開講
Intermediate AEⅠまたは Advanced AEⅠから1単位選択必修。Intermediate AEⅡまたは Advanced AEⅡから1単位選択必修。
Intermediate AEⅢまたは Advanced AEⅢから1単位選択必修。Intermediate AEⅣまたは Advanced AEⅣから1単位選択必修。

選択科目

区分	授 業 科 目	grade・単位数				備考	履 修 前 提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
専 門 科 目	数 学 II		2				
	生 命 物 理 学		2				
	放 射 化 学		1				
	有 機 化 学 II		2				
	応用生命科学I (多様性生物学)		1			☆	
	生命医科学I (生命医科学特講I)	1					
	生命医科学II (解剖生理学)		1				
	生 命 科 学 I (地球環境論)		1				
	生命科学特別演習I			1		*	2年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習II				1	*	2年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	物 理 化 学				2		
	分子細胞生物学II				2		
	生 理 学			2			
	創 業 概 論			2			
	分子生命科学I (生物有機化学)			1			
	分子生命科学II (天然医薬品化学)			1			
	応用生命科学II (植物生理学)			1		☆	
	応用生命科学III (応用食品科学)				1	☆	
	応用生命科学IV (資源生物工学)				1	☆	
	生 命 科 学 IV (基礎情報学)				1		
	生 命 科 学 VI (応用統計学)				1		
	生命科学ゼミナールI			1		*	
	生命科学ゼミナールII				1	*	
	生命科学特別演習III				1	*	3年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習IV					*	3年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	免 疫 学				2		
	発 生 生 物 学				2		
	神 經 生 物 学				2		
	薬 理 学 概 論				2		
	分子生命科学III (細胞の物理生物学)				1		
	分子生命科学IV (医薬品合成化学)				1		
	分子生命科学V (生命計測化学)				1		
	分子生命科学VI (バイオインフォマティクス)				1		
	分子生命科学VII (ケミカルバイオロジー)				1		
	分子生命科学VIII (生体物質分析化学)				1		
	分子生命科学IX (医薬品化学)				1	未	※2025年度開講予定
	応用生命科学V (応用微生物学)				1	☆	
	応用生命科学VI (環境生理学)				1	☆	
	応用生命科学VII (環境生態学)				1	☆	
	応用生命科学VIII (蛋白質工学)				1	☆	
	応用生命科学IX (ゲノム進化学)				1	☆	
	応用生命科学X (ECO-TOPインターンシップI)				1	C☆	応用生命科学XIと同時履修、2021年度以降入学生
応用生命科学XI (ECO-TOPインターンシップII)				1	C☆	応用生命科学Xと同時履修、2021年度以降入学生	
生命医科学III (生命医科学特講II)				1			
生命医科学IV (発生再生医学)				1			
生命医科学V (腫瘍医学)				1			
生命医科学VI (分子病理学)				1			
生命医科学VII (代謝医学)				1			
生命医科学VIII (感染医学)				1			
生命医科学IX (ゲノム医学)				1			
生命医科学X (ゲノム情報医学)				1			
生命科学II (行動神経生物学)				1			
生命科学III (放射線生物影響論)				1			
生命科学V (計算機の論理とデータ構造)				1			
生命科学VII (アドバンス薬理学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学VIII (アドバンス薬剤学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学ゼミナールIII				1	*		
生命科学ゼミナールIV (英語で学ぶ生命科学)				1			
総 計		1:10	7:12	19:20	0:0	計69	

<学科指定選択科目4単位以上を含む28単位以上を取得すること>

☆：学科指定選択科目 C：CAP対象外 未：未開講

* 2024年度以降入学者：CAP対象外/GPA計算対象外、2023年度以前入学者：CAP対象/GPA計算対象

履
修
要
項

3 生命医科学科

必修科目

区分	授業科目	grade・単位数				備考	履修前提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
総合科目	生命医科学ゼミナール	1					
	生命科学と社会Ⅰ（大学入門）	2					
	情報科学Ⅰ	1					
	Basic Academic EnglishⅠ	1					
	Basic Academic EnglishⅡ	1					
	Basic Academic EnglishⅢ	1					
	Basic Academic EnglishⅣ	1					
	English for ScienceⅠ			1			
	English for ScienceⅡ				1		
	生命と倫理					2	4年生
総計		6:2	0:0	1:1	0:2	計12	
専門科目	基礎生命科学実習Ⅰ（化学）	1					
	基礎生命科学実習Ⅰ（物理）	1					
	基礎生命科学実習Ⅰ（生物）	1					
	生命医科学概論	1					
	数学Ⅰ	2					
	化学	2					
	生物無機化学	2					
	有機化学Ⅰ	2					
	生物学	2					
	生化学Ⅰ	2					
	分子生物学Ⅰ	2					
	微生物学	1					
	生命医科学Ⅱ（解剖生理学）	1					
	基礎生命科学実習Ⅱ		2				2年生
	基礎生命科学実習Ⅲ		2				2年生
	生物統計学		2				
	生化学Ⅱ		2				
	分子生物学Ⅱ		2				
	遺伝子工学		2				
	分子細胞生物学Ⅰ		2				
	分子細胞生物学Ⅱ		2				
	生理学		2				
	生命科学実習			3			3年生
	生命医科学実習				2		3年生
	免疫学			2			
	発生生物学			2			
神経生物学			2				
食品衛生学			2				
生命医科学Ⅳ（発生再生医学）			1				
生命医科学Ⅴ（腫瘍医科学）			1				
卒業論文研究				16	通年	4年生	
生命科学特講Ⅰ				1		4年生	
生命科学特講Ⅱ				1		4年生	
ゼミナールⅠ				1		4年生	
ゼミナールⅡ				1		4年生	
総計		9:11	12:6	5:10	18:2	計73	

自由科目

区分	授業科目	単位数	備考
自由科目	初等物理学	1	1年次前期にリメディアル科目として開講 CAP対象外、GPA計算対象外
	初等生物学	1	

※初等化学（1単位）及び初等数学（1単位）は未開講

《卒業・進級基準について》

修得した科目を課程表等で確認し、下記の表に修得済み単位数を記入して、【 】の卒業・進級基準を満たすよう留意すること。

年次	①必修科目	選択科目 ※右下の数値を超えて修得した単位は、 卒業基準および各学年の進級基準対象単位 として計算しないため注意すること。			卒業・進級基準 対象単位計 ①+②+③+④	進級要件科目 ※詳細はP24 「年次進級の判定」を参照
		②総合科目	③専門指定科目 4単位を超えた 分は指定外科目 に加算すること。	④専門指定外 科目		
1年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 17	【30単位以上】	【進級基準要件科目】 ・生命医科学ゼミナール ・生命科学と社会Ⅰ（大学入門） ・基礎生命科学実習Ⅰ（化学） ・基礎生命科学実習Ⅰ（物理） ・基礎生命科学実習Ⅰ（生物）
2年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 17	【62単位以上】	【進級基準要件科目】 ・基礎生命科学実習Ⅱ ・基礎生命科学実習Ⅲ
3年次 (進級)		/ 18	/ 4	/ 17	【94単位以上】	【進級基準要件科目】 ・生命科学実習 ・生命医科学実習
4年次 (卒業)	【85単位】	【18単位以上】	【21単位以上（指定科目4単位以上を含む）】	【124単位以上】	-	

- ・1年間に履修できる単位数の上限はP18「履修単位数の上限（CAP制）」についてを参照。
- ・4年次は、卒業論文に全力を尽くせるよう、3年次までに計画的に履修すること。

選択科目

履修要項

区分	授業科目	grade・単位数				備考	履修前提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
総合科目目	情報科学Ⅱ	1				★	
	法学(日本国憲法)	2				★	
	人間科学Ⅰ(教育学)	1					
	スポーツⅠ	1				★	
	ICT活用の理論と実践	1				★CG	2022年度以降入学生
	Intermediate Academic EnglishⅠ		1			◇	※Basic AEⅠの成績がSの学生は、Intermediate AEⅠの履修は行えず、Advanced Academic EnglishⅠを履修する。
	Intermediate Academic EnglishⅡ		1			◇	※Basic AEⅡの成績がSの学生は、Intermediate AEⅡの履修は行えず、Advanced Academic EnglishⅡを履修する。
	Intermediate Academic EnglishⅢ		1			◇	※Basic AEⅢの成績がSの学生は、Intermediate AEⅢの履修は行えず、Advanced Academic EnglishⅢを履修する。
	Intermediate Academic EnglishⅣ		1			◇	※Basic AEⅣの成績がSの学生は、Intermediate AEⅣの履修は行えず、Advanced Academic EnglishⅣを履修する。
	English and Life Science in the USA			2		通年CG	
	生命科学と社会Ⅱ(演習)		1			C	
	生命科学と社会Ⅲ(卒業生に学ぶ未来)		1				
	情報科学Ⅲ		1				
	言語と文化Ⅰ(ドイツⅠ)		1				
	言語と文化Ⅱ(ドイツⅡ)		1				言語と文化Ⅰの修得
	言語と文化Ⅲ(フランスⅠ)		1				※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅳ(フランスⅡ)		1				言語と文化Ⅲの修得 ※2025年度未開講予定
	言語と文化Ⅴ(中国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅵ(中国Ⅱ)		1				言語と文化Ⅴの修得
	言語と文化Ⅶ(韓国Ⅰ)		1				
	言語と文化Ⅷ(韓国Ⅱ)		1				言語と文化Ⅶの修得
	哲学		2				
	科学史		2				
	人間科学Ⅱ(外国文学)		1				未
	スポーツⅡ		1				★ 2年生
	地学		1				★
	地学実習		1				★
	教育原理		2				★CG 教職課程履修者
	教育行政学		2				★CG 教職課程履修者
	人間科学Ⅲ(経済学)		1				
	生命科学と社会Ⅶ(サイエンスコミュニケーション)		1				
	Advanced Academic EnglishⅠ			1			◇ Intermediate AEⅠの修得。※Basic AEⅠの成績がSの場合、Intermediate AEⅠに代えて履修
	Advanced Academic EnglishⅡ			1			◇ Intermediate AEⅡの修得。※Basic AEⅡの成績がSの場合、Intermediate AEⅡに代えて履修
Advanced Academic EnglishⅢ			1			◇ Intermediate AEⅢの修得。※Basic AEⅢの成績がSの場合、Intermediate AEⅢに代えて履修	
Advanced Academic EnglishⅣ			1			◇ Intermediate AEⅣの修得。※Basic AEⅣの成績がSの場合、Intermediate AEⅣに代えて履修	
生命科学と社会Ⅳ(応用演習)			1				
生命科学と社会Ⅴ(開発・起業企画)			1				
生命科学と社会Ⅵ(Global Perspective)			1				
インターンシップ			1		通年C	3年生 ※前期又は後期で1単位履修可能。	
生命科学知財論			2			3年生	
人間科学Ⅳ(Cultural Diversity)			1				
人間科学Ⅴ(環境経済学)			1				
教育心理学			1			★CG 教職課程履修者	
総計		2:4	19:12	7:6	0:0	計50	

計18単位以上修得すること ★:教職課程履修者は必ず履修すること。◇:英語選択必修 C:CAP対象外 G:GPA計算対象外 未:未開講 Intermediate AEⅠまたは Advanced AEⅠから1単位選択必修。Intermediate AEⅡまたは Advanced AEⅡから1単位選択必修。Intermediate AEⅢまたは Advanced AEⅢから1単位選択必修。Intermediate AEⅣまたは Advanced AEⅣから1単位選択必修。

選択科目

区分	授業科目	grade・単位数				備考	履修前提
		1年	2年	3年	4年		
		前:後	前:後	前:後	前:後		
専門科目	数学Ⅱ		2				
	物理学	2					
	生命物理学		2				
	放射化学		1				
	有機化学Ⅱ		2				
	応用生命科学Ⅰ(多様性生物学)		1				
	生命医科学Ⅰ(生命医科学特講Ⅰ)	1				☆	
	生命科学Ⅰ(地球環境論)		1				
	生命科学特別演習Ⅰ			1		*	2年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習Ⅱ			1		*	2年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	分析化学			2			
	物理化学				2		
	生態学				2		
	創薬概論				2		
	分子生命科学Ⅰ(生物有機化学)			1			
	分子生命科学Ⅱ(天然医薬品化学)			1			
	応用生命科学Ⅱ(植物生理学)			1			
	応用生命科学Ⅲ(応用食品科学)				1		
	応用生命科学Ⅳ(資源生物工学)				1		
	生命科学Ⅳ(基礎情報学)				1		
	生命科学Ⅵ(応用統計学)				1		
	生命科学ゼミナールⅠ			1		*	
	生命科学ゼミナールⅡ			1		*	
	生命科学特別演習Ⅲ				1	*	3年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	生命科学特別演習Ⅳ				1	*	3年生、直前のSemester GPA 2.80以上
	薬理学概論				2		
	分子生命科学Ⅲ(細胞の物理生物学)				1		
	分子生命科学Ⅳ(医薬品合成化学)				1		
	分子生命科学Ⅴ(生命計測化学)				1		
	分子生命科学Ⅵ(バイオインフォマティクス)				1		
	分子生命科学Ⅶ(ケミカルバイオロジー)				1		
	分子生命科学Ⅷ(生物物質分析化学)				1		
	分子生命科学Ⅸ(医薬品化学)				1	未	※2025年度開講予定
	応用生命科学Ⅴ(応用微生物学)				1		
	応用生命科学Ⅵ(環境生理学)				1		
	応用生命科学Ⅶ(環境生態学)				1		
	応用生命科学Ⅷ(蛋白質工学)				1		
	応用生命科学Ⅸ(ゲノム進化学)				1		
	応用生命科学Ⅹ(ECO-TOPインターンシップⅠ)				1	C	応用生命科学Ⅺと同時履修、2021年度以降入学生2024年度以降入学の分子生命科学科、生命医科学科は履修不可
	応用生命科学Ⅺ(ECO-TOPインターンシップⅡ)				1	C	応用生命科学Ⅹと同時履修、2021年度以降入学生2024年度以降入学の分子生命科学科、生命医科学科は履修不可
生命医科学Ⅲ(生命医科学特講Ⅱ)				1	☆		
生命医科学Ⅵ(分子病理学)				1	☆		
生命医科学Ⅶ(代謝医科学)				1	☆		
生命医科学Ⅷ(感染医科学)				1	☆		
生命医科学Ⅸ(ゲノム医科学)				1	☆		
生命医科学Ⅹ(ゲノム情報医科学)				1	☆		
生命科学Ⅱ(行動神経生物学)				1			
生命科学Ⅲ(放射線生物影響論)				1			
生命科学Ⅴ(計算機の論理とデータ構造)				1			
生命科学Ⅶ(アドバンス薬理学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学Ⅷ(アドバンス薬剤学)				1	未	※2025年度開講予定	
生命科学ゼミナールⅢ				1	*		
生命科学ゼミナールⅣ(英語で学ぶ生命科学)				1			
総計		3:9	7:12	17:14	0:0	計62	

<学科指定選択科目 4単位以上を含む21単位以上を取得すること>

☆: 学科指定選択科目 C: CAP対象外 未: 未開講

* 2024年度以降入学者: CAP対象外/GPA計算対象外、2023年度以前入学者: CAP対象/GPA計算対象

履修要項

4 実務経験のある教員による授業科目の単位数及び 実務経験のある教員による授業科目

【実務経験のある教員による授業科目】

本学生命科学部における実務経験教員とは、医療機関で医師として医療に従事した経験を持った教員や一般企業等での開発職に従事した経験のある教員を指す。科目では、実務に直結した実践的な教育もさることながら、社会的意義の修得と卒後の社会活動への意欲向上を目的として教育・指導を行っている。

【実務経験のある教員による授業科目の単位数】

	生 命 科 学 部		
	分子生命科学科	応用生命科学科	生命医科学科
学科別科目	16	16	14
設置基準上の標準単位数	124		

開講年次	科目名	開講期	科目分類 (分子生命科学科)	科目分類 (応用生命科学科)	科目分類 (生命医科学科)	単位数
1	生化学Ⅰ	後期	必修専門	必修専門	必修専門	2
2	応用生命科学Ⅲ (応用食品科学)	後期	選択専門	選択(学科指定)専門	選択専門	1
2	遺伝子工学 (分子・応用)	後期	必修専門	必修専門		2
3	食品衛生学	後期	必修専門	必修専門	必修専門	2
3	生命医科学Ⅳ (発生再生医学)	後期	選択専門	選択専門	必修専門	1
3	生命医科学Ⅴ (腫瘍医科学)	後期	選択専門	選択専門	必修専門	1
3	生命科学Ⅲ (放射線生物影響論)	前期	選択専門	選択専門	選択専門	1
3	生命医科学Ⅷ (感染医科学)	後期	選択専門	選択専門	選択(学科指定)専門	1
3	免疫学	前期	選択専門	選択専門	必修専門	2
3	応用生命科学Ⅷ (蛋白質工学)	前期	選択専門	選択(学科指定)専門	選択専門	1
3	生命医科学Ⅵ (分子病理学)	前期	選択専門	選択専門	選択(学科指定)専門	1
3	生命医科学Ⅶ (代謝医科学)	後期	選択専門	選択専門	選択(学科指定)専門	1
合計単位数			16	16	14	16

* 各科目の実務経験を持つ教員及び実務経験に基づいた教育・指導の内容については2020年度入学生用授業計画の各科目ページを参照。

Ⅲ 特別プログラムについて

1 特別プログラムとは

生命科学は今や社会に広く浸透し、その裾野は大きく広がっている。専門として学ぶ生命科学の知識や技術は様々な形で社会に還元され、新たな価値を生み出すことが期待される。このような観点から、特別プログラムとして次の三つの科目群を設定する。それぞれのプログラムにおいて、所定の単位数を取得した者に認定証を発行する。

(a)アントレプレナー養成プログラム

急速に進展する生命科学が、様々なビジネスと結びつき、私たちの社会、生活を大きく変えつつある昨今、生命科学を専門として学び、それを背景として様々な領域でイノベーションを生み出す人材に対するニーズがますます高まっている。本プログラムは、そうしたニーズに応える人材を養成するため、現状を打破し新しい価値を創造するアントレプレナーシップを養うとともに、サイエンスとビジネスを結び付ける思考法や起業のための実践的な方法論を学ぶことを目的とする。

(b)データサイエンスプログラム

生命科学研究においても、またサイエンス・ビジネスにおいても、データサイエンスは不可欠の要素となっている。ITインフラの整備により膨大なデータリソースが形成されつつあり、また機械学習のような人工知能(AI)技術の進展ともあいまって、各業界でビッグデータを管理・加工・解析できる人材の確保が急務となっている。政府が発表した「AI戦略2019」でも、文系・理系を問わず数理・データサイエンス教育の充実が掲げられ、レベルに応じて3段階のモデルカリキュラムが策定されている。本学部のプログラムでは、このうちの第2段階「応用基礎」レベルの知識・技術を習得するとともに、生命科学に特化したゲノム・メタゲノム情報の利用や医療ビッグデータの活用のできる人材の養成を目指している。

(c)グローバルキャリアプログラム

グローバル化が進み、国内外を問わずに活躍する人が社会において求められる。グローバルに活躍するためには、語学力だけでなく、多様な文化を理解し、異なる考えを持つ人々とともに働く力が必要となる。本プログラムでは、グローバルな視野を育み、将来海外で活躍する学生を育成していく。

(d)未来創薬人養成プログラム

病の苦しみから人々を解放する新しい薬を切実に願う人は多い。医薬品は生命や健康に直接関わるものであり、創薬が負っている使命は大きい。今日の創薬では、生命科学領域の最先端の知や技術が求められる。一方で、基礎研究から始まり医薬品として社会に実装するまでの過程には、さまざまな知識や技術、専門力をもった多くの人の力を結集することが必要である。このプログラムでは、基礎研究から社会実装までを大きく「創薬」、そこに結集するさまざまな専門をもつ人すべてを「創薬人」としてとらえ、多様化する創薬のモダリティに適應する未来志向の創薬を深く学び、創薬研究へと進む創薬人、創薬マインドをもって未来社会で活躍する創薬人を養成することを目的とする。

各プログラムに指定された科目の単位を修得することで、認定証を得ることができる。

2 各プログラムの認定証発行の条件

(a) アントレプレナー養成プログラム（合計10単位以上）

学部の必修科目 (2単位)	生命科学と社会Ⅰ（大学入門）
認定証の必須科目 (2単位)	生命科学と社会Ⅱ（演習）（1単位）、 生命科学と社会Ⅴ（開発・起業企画）（1単位）
認定証の選択必須科目 * 6単位以上取得	生命科学知財論（2単位）、インターンシップ（1単位）、 生命科学と社会Ⅲ（卒業生に学ぶ未来）（1単位）、 生命科学と社会Ⅳ（応用演習）（1単位）、人間科学Ⅲ（経済学）（1単位）、 生命科学と社会Ⅵ（Global Perspective）（1単位）、 生命科学と社会Ⅶ（サイエンスコミュニケーション）（1単位）

(b) データサイエンスプログラム（合計13単位以上）

学部の必修科目 (5単位)	数学Ⅰ、情報科学Ⅰ、生物統計学
認定証の必須科目 (7単位)	数学Ⅱ、情報科学Ⅱ、情報科学Ⅲ、生命科学Ⅳ（基礎情報学）、 生命科学Ⅴ（計算機の論理とデータ構造）、 分子生命科学Ⅵ（バイオインフォマティクス）
認定証の選択必須科目 * 1科目以上取得	ICT活用の理論と実践、生命医科学Ⅸ（ゲノム医科学）、 応用生命科学Ⅹ（ゲノム進化学）、生命医科学Ⅹ（ゲノム情報医科学）、 生命科学Ⅵ（応用統計学）

(c) グローバルキャリアプログラム（合計12単位以上）

学部の必修科目 (4単位)	Basic Academic EnglishⅠ～Ⅳ（各1単位 計4単位）
認定証の必須科目 (2単位)	生命科学と社会Ⅵ（Global Perspective）（1単位）、 人間科学Ⅳ（Cultural Diversity）（1単位）
認定証の選択必須科目 * 6単位以上取得	Intermediate Academic EnglishⅠ～Ⅳ（各1単位 計4単位）、 Advanced Academic EnglishⅠ～Ⅳ（各1単位 計4単位）、 English and Life Sciences in the USA（2単位）、 言語と文化Ⅰ～Ⅷ（各1単位 計8単位）、 生命科学ゼミナールⅣ（英語で学ぶ生命科学）（1単位）

(d) 未来創業者養成プログラム（合計39単位以上）

学部の必修科目 (19単位)	有機化学Ⅰ、生化学Ⅰ、分子生物学Ⅰ、微生物学、生物統計学、生化学Ⅱ、 分子生物学Ⅱ、分子細胞生物学Ⅰ、分子細胞生物学Ⅱ、遺伝子工学	
認定証の必須科目 (9単位)	分子生命科学Ⅰ（生物有機化学）、創薬概論、薬理学概論、 応用生命科学Ⅶ（蛋白質工学）、分子生命科学Ⅸ（医薬品化学）、 生命科学Ⅶ（アドバンス薬理学）、生命科学Ⅷ（アドバンス薬理学）	
認定証の 選択必須科目：A群 * 1単位以上取得	生命医科学Ⅱ（解剖生理学）（1単位）、生理学（2単位）	認定証の 必須要件： A群・B群 の合計 11単位以上 取得
認定証の 選択必須科目：B群 * 9単位以上取得	有機化学Ⅱ（2単位）、分子生命科学Ⅱ（天然医薬品化学）（1 単位）、分析化学（2単位）、免疫学（2単位）、分子生命科学 Ⅳ（医薬品合成化学）（1単位）、分子生命科学Ⅶ（ケミカル バイオロジー）（1単位）、応用生命科学Ⅴ（応用微生物学）（1 単位）、生命医科学Ⅳ（発生再生医学）（1単位）、生命医科学 Ⅴ（腫瘍医科学）（1単位）、生命医科学Ⅶ（代謝医科学）（1 単位）、生命医科学Ⅷ（感染医科学）（1単位）、生命医科学Ⅹ （ゲノム情報医科学）（1単位）、生命科学知財論（2単位）	

3 認定証の申請方法

申請方法の詳細は掲示板及びTOYAKU UNIPA（旧：学生ポータル）にて別途掲示しているので確認すること。

なお、申請は学部在籍時のみとする（学部卒業後の申請は認めない）。

IV 教育職員免許状取得に関する事項

【教職課程の履修について】

教職課程とは、卒業時に教育職員免許法に基づく免許状を取得して、教育職員になる資格を得るための課程である。教科及び教職に関する科目について教育職員免許法およびその関係法規に定める所定の単位を修得できるように設定されている。

事務窓口は生命科学事務課に置く。

1 免許状について

本学部では次の教育職員免許状両方を取得する課程をおく。

- (1) 中学校教諭一種免許状（理科）
- (2) 高等学校教諭一種免許状（理科）

2 教職課程の履修

免許状を取得するには、次の(1)～(4)の要件を全て満たすことが必要である。

- (1) 学部を卒業し学士の学位を取得すること。
- (2) 教育職員免許法に定める教科及び教職に関する科目について、所定の単位を修得すること。
- (3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、所定の単位を修得すること。
- (4) 中学校教諭一種免許状を取得するための「介護等体験」を受講すること。

それぞれについて必要な単位は（P48～53）のとおりである。

3 介護等体験・教育実習について

(1) 介護等体験について

中学校教諭免許状を取得するには「介護等体験」が義務付けられている。

3年次に7日間以上の介護等体験（社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間）を行い、その施設・学校が発行する証明書を受けることが必要である。

- 身体障害者手帳に、障害の程度が一級から六級である者として記載されている者については、介護等体験は免除される。ただし、上記該当者であっても希望があれば社会福祉施設、特別支援学校の許可を得たうえで介護等体験を行える場合がある。上記該当者は介護等体験実施前年度（通常2年次）の12月までに、介護等体験の免除希望の有無にかかわらず、教職課程教員もしくは生命科学事務課担当課員に相談すること。

(2) 教育実習について

教育実習の単位取得は、大学で事前事後指導を受講し、実習校（中学・高校、中等教育学校）で3～4週間の学習ならびに実地授業を行って修得する。

- 東京都内公立中学校での教育実習を希望する場合、大学へ申請をする。なお、実習校の指定はできない。
- 東京都内公立中学校以外の学校での教育実習を希望する場合、2年次の3月頃、希望する学校へ本人が相談する。なお、受入れ校が極めて少ないので、出身校や知人の紹介による学校などに早めに相談し、依頼すること。その後の諸手続き（正式依頼など）は大学が行う。
- 受入れ校から教育実習の内諾を受けた後の辞退は、受入れ校での具体的な準備を開始しているため、原則認められない。

4 履修の方法

- (1)履修を希望する学生は、1年次前期に行う教職ガイダンスに必ず出席し、**教職課程受講願（新規）**を提出する。なお、教職課程受講願（新規）を提出した全員が教職課程研究室教員と面談を行い、そのうえで履修が許可される。その際、履修の可否に関して以下の基準で教職課程研究室教員が判断を行い、また以後の履修開始等に関する個別アドバイスを行う。
 - ・判断を行う時点で進級不可基準に抵触していないこと（不合格となることにより進級不可となる科目を修得していないなど）
 - ・1年次履修希望時、前期GPAが1.80以上であること
- (2)教職課程の履修は、1年次後期から開始する。ただし、「スポーツⅠ」及び生命医科学科「物理学」は1年次前期から教職課程の必修科目として履修開始となる。各年度・学期で履修しなければならない科目については各学科の教職課程教育課程表（P48～）を必ず参照すること。
- (3)履修者は、一般授業料のほかに、教職課程受講料を納入すること。
（学則・手数料納入金一覧参照）
- (4)各自Webにて教職課程科目の履修申請を行う。
- (5)教職課程の履修は1年次後期からの開始を原則とする。なお2年次以降からの開始については別途教職課程研究室教員が協議の上、可否を判断する。ただし、2年次以降からの履修開始は教育職員免許状の取得と学部の卒業単位修得の両立が困難なため、学部卒業以降に教職課程の履修継続が必要な場合がある。

5 教職課程の履修継続に当たっての注意

- (1)教職課程の履修は、次図に示すように1年次後期から始まり4年次まで継続することが要求される。学部卒業要件の単位のほかにかかなりの単位数を取得しなければならないので、中途半端な気持ちでは履修できない。将来、教壇に立とうという強い意志を持つ者のみが履修することが望ましい。
- (2)生命科学部としての本来の学業が第一に進むよう、自分の学習計画を十分に考えて教職課程の履修を決定することが必要である。
- (3)教職課程履修生（全学年）は、学年度始めに行われる教職課程ガイダンスに出席し、履修継続の手続きを行い、**教職課程受講願（継続）**を提出する。
- (4)教職課程受講願（継続）が提出されても、その前年度において未修得の必修科目を残している場合は、教職課程の履修を認めないこともある。
- (5)2期連続してsemester GPA（学期のGPA）が1.80未満の場合、または進級不可基準の抵触・休学等により進級不可となった場合、教職課程研究室教員と面接を行い、今後の履修について判断することとする。
- (6)教職課程の履修を継続するにあたり、原則、教員採用試験を受験する必要がある。
- (7)教育実習を行う校区周辺での教育関係アルバイト（塾、予備校等）は行わないものとする（4年次4月から実習終了後の時期まで）。

6 大学入学から教育職員免許状取得までの手続き

大学入学 → 教職課程履修 → 介護等体験 → (卒業見込み) → 教育実習 → 教育職員免許状取得

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
4月		教職課程ガイダンス 履修継続申請 教職科目履修登録 (Web)	教職課程ガイダンス 履修継続申請 介護等体験手続開始 教職科目履修登録 (Web) 介護等体験事前指導	教職課程ガイダンス 履修継続申請 教育実習事前指導 教職科目履修登録 (Web)
5月				教育実習実施 5月～11月頃実施 (3～4週間) ※5月、6月の時期が 最も多い
6月	教職課程ガイダンス 履修申請		介護等体験開始 <2日間と5日間> (随時3月まで) 教育実習申請書の提出	
7月				教育職員免許状申請 手続さその① 教育実習記録等の提出
9月	受講料納入 (予定) 教職科目履修登録 (Web)	教職科目履修登録 (Web)	教職科目履修登録 (Web)	教職科目履修登録 (Web)
10月			教育実習報告会 (4年生の体験発表を聞く) (10月～11月頃予定)	教育実習報告会
11月				教育職員免許状申請 手続さその②
3月		教育実習校受け入れの 可否打診		教育職員免許状交付

生命科学部分子生命科学科 教職課程 教育課程表 2022年度(令和4年度)以降入学生から適用

履修要項

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目								各科目合計 (選択必修含む) 単位の数	免状取得の 単位の数		
	1年次		2年次		3年次		4年次					
	授業科目	単位 前/後	授業科目	単位 前/後	授業科目	単位 前/後	授業科目	単位 前/後				
教科及び教科の指遵法に関する事項	物理学	2				●分子生命科学Ⅲ (細胞の物理生物学)	1			3	計 中34 高30	
	物理学実験	1								1		
	化学	2 2	●分子生命科学Ⅰ (生物有機化学) ●分子生命科学Ⅱ (天然医薬品化学)	1 1		●分子生命科学Ⅳ (医薬品合成化学) ●分子生命科学Ⅴ (生命計測化学) ●分子生命科学Ⅶ (ケミカルバイオロジー) ●分子生命科学Ⅷ (生体物質分析化学)	1 1 1			12		
	化学実験	1								1		
	生物学	2	分子生物学Ⅱ 生理学	2		神経生物学 ●分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマ ティクス)	2 1			11		
	生物学実験	1								1		
	地学		○地学	1						1		
	地学実験		○地学実習	1						1		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)						○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ	2 2 4			中8 高4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		○教育原理	2							10	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)	○教職概論	2									
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育行政学	2								
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程					○教育心理学	1					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					○特別支援教育	1					
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○教育課程論	2								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法					○道徳教育指導論	2				計 中10 高8	
	総合的な学習／探究の時間の指導法		○総合的な学習／ 探究の時間の指導法	1								
	特別活動の指導法		○特別活動指導論	1								
	教育の方法及び技術	○教育方法・技術論	1									
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○ICT活用の理論と実践	1									
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					○教育相談	2					
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法・進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法					○生徒・進路指導論	2					
	教育実習							○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	3 2		計 中7 高5	
教育実践演習								○教職実践演習 (中・高)	2			
大学が独自に設定する科目						○介護等体験 社会福祉施設等 5日間 特別支援学校 2日間	2			2		
計：63												
第66条の6で定める科目	日本国憲法	○法学(日本国憲法)	2								2	
	体育	○スポーツⅠ	1	○スポーツⅡ	1						2	
	外国語コミュニケーション	Basic Academic EnglishⅠ	1									4
		Basic Academic EnglishⅡ	1									
		Basic Academic EnglishⅢ	1									
Basic Academic EnglishⅣ		1										
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報科学Ⅰ ○情報科学Ⅱ	1 1								2		

【備考】 無印：必修科目の為、履修申請する必要なし。
 ○：教職課程履修者は履修申請すること。
 ◎：教職課程履修者は履修申請すること。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は「大学が独自に設定する科目」の単位とする。
 ●：教職課程履修者は8単位中3単位以上を履修申請すること。
 CAP対象外・GPA計算対象外科目：「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)
 教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。
 ※総合的な学習／探究の時間の指導法…2022年度入学生の科目名称は「総合的な学習の時間の指導法」とする。

生命科学部応用生命科学科 教職課程 教育課程表 2022年度(令和4年度)以降入学生から適用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目								各科目合計 (選択必修含む)	免許状取得の 単位数	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		授業科目	単位 前後	授業科目	単位 前後	授業科目	単位 前後	授業科目	単位 前後			
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学	2							2	計 中34 高30	
	物理学実験	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	1							1		
	化学	化学	2	分析化学	2					4		
	化学実験	基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	1							1		
	生物学	生物学 生化学Ⅰ 微生物学 ●応用生命科学Ⅰ (多様性生物学)	2 2 1 1	生化学Ⅱ 遺伝子工学 生態学 ●応用生命科学Ⅱ (植物生理学) ●応用生命科学Ⅲ (応用食品科学) ●応用生命科学Ⅳ (資源生物工学)	2 2 2 1 1	食品衛生学 ●応用生命科学Ⅴ (応用微生物学) ●応用生命科学Ⅵ (環境生理学) ●応用生命科学Ⅶ (環境生態学) ●応用生命科学Ⅷ (蛋白質工学) ●応用生命科学Ⅸ (ゲノム進化学)	1 1 1 1 1					22
	生物学実験	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	1									1
	地学			○地学	1							1
	地学実験			○地学実習	1							1
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)					○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ	2 2 4					中8 高4
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			○教育原理	2						
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)		○教職概論	2									
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				○教育行政学	2							
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程						○教育心理学	1					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解						○特別支援教育	1					
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			○教育課程論	2								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法					○道徳教育指導論	2				計 中10 高8	
	総合的な学習／探究の時間の指導法			○総合的な学習／探究の時間の指導法	1							
	特別活動の指導法			○特別活動指導論	1							
	教育の方法及び技術	○教育方法・技術論	1									
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○ICT活用の理論と実践	1									
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					○教育相談	2					
教育実践に関する科目	教育実習					○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	3 2				計7 高5	
	教育実践演習					○教職実践演習(中・高)	2					
大学が独自に設定する科目					○介護等体験 社会福祉施設等 5日間 特別支援学校 2日間	2				2		
計：63												
第66条の6で定める科目	日本国憲法	○法学(日本国憲法)	2								2	
	体育	○スポーツⅠ	1	○スポーツⅡ	1						2	
	外国語コミュニケーション	Basic Academic English I Basic Academic English II Basic Academic English III Basic Academic English IV	1 1 1 1								4	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報科学Ⅰ ○情報科学Ⅱ	1 1								2	

【備考】 無印：必修科目の為、履修申請する必要なし。
 ○：教職課程履修者は履修申請すること。
 ◎：教職課程履修者は履修申請すること。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は「大学が独自に設定する科目」の単位とする。
 ●：教職課程履修者は9単位中2単位以上を履修申請すること。
 CAP対象外・GPA計算対象外科目：「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)
 教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。
 ※総合的な学習／探究の時間の指導法…2022年度入学生の科目名称は「総合的な学習の時間の指導法」とする。

履修要項

生命科学部生命医科学科 教職課程 教育課程表 2022 年度(令和 4 年度)以降入学生から適用

履修要項

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目								各科目合計 (選択必修含む) 単位数	免許状取得の 為の 単位数				
	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次							
	授業科目	単 位 前 後	授業科目	単 位 前 後	授業科目	単 位 前 後	授業科目	単 位 前 後						
教科及び教科の指導法に関する科目	物 理 学	○物理学	2							2	計 中 34 高 30			
	物 理 学 実 験	基礎生命科学実習 I (物理)	1							1				
	化 学 学	化学 生物無機化学	2							4				
	化 学 実 験	基礎生命科学実習 I (化学)	1							1				
	生 物 学	生物学 生命医科学 II (解剖生理学)	2	分子細胞生物学 I 分子細胞生物学 II	2	2	免疫学 発生物学 生命医科学 IV (発生再生医学) 生命医科学 V (腫瘍医科学) ●生命医科学 VI (分子病理学) ●生命医科学 VII (代謝医科学) ●生命医科学 VIII (感染医科学) ●生命医科学 IX (ゲノム医科学) ●生命医科学 X (ゲノム情報医科学)	2	1	1		1	1	18
	生 物 学 実 験	基礎生命科学実習 I (生物)	1									1		
	地 学			○地学	1							1		
	地 学 実 験			○地学実習	1							1		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)						○理科教育法 I ○理科教育法 II ○理科教育法 III	2 2 4				中8 高4		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			○教育原理	2							10	
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)		○教職概論	2											
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				○教育行政学	2									
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程						○教育心理学	1							
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解						○特別支援教育	1							
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)				○教育課程論	2									
道徳、総合的な学習の時間等、及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法					○道徳教育指導論	2				計 中 10 高 8			
	総合的な学習 / 探究の時間の指導法			○総合的な学習 / 探究の時間の指導法	1									
	特別活動の指導法			○特別活動指導論	1									
	教育の方法及び技術	○教育方法・技術論	1											
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○ICT活用の理論と実践	1											
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					○教育相談	2							
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法、進路指導 (キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法					○生徒・進路指導論	2				計 中 7 高 5			
	教育実習								3 2					
教育実践演習									2					
大学が独自に設定する科目						○介護等体験 社会福祉施設等 5 日間 特別支援学校 2 日間	2			2	計 : 63			
第 66 条の 6 で定める科目	日 本 国 憲 法	○法学(日本国憲法)	2								2			
	体 育	○スポーツ I	1	○スポーツ II	1						2			
	外 国 語 コミュニケーション	Basic Academic English I	1									4		
		Basic Academic English II	1											
		Basic Academic English III	1											
Basic Academic English IV		1												
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は 情報機器の操作	情報科学 I 情報科学 II	1 1								2				

〔備考〕 無印：必修科目の為、履修申請する必要なし。

○：教職課程履修者は履修申請すること。

◎：教職課程履修者は履修申請すること。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は「大学が独自に設定する科目」の単位とする。

●：教職課程履修者は 2 単位以上を履修申請すること。

CAP 対象外・GPA 計算対象外科目：「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)

教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。

※総合的な学習 / 探究の時間の指導法…2022年度入学生の科目名称は「総合的な学習の時間の指導法」とする。

生命科学部分子生命科学科 教職課程 教育課程表 2020年度(令和2年度)・2021年度(令和3年度)入学生に適用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目								免許状取得のための単位数		
		Grade1		Grade2		Grade3		Grade4				
		授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学 ☆生命物理学	2	2						4	
		物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (物理)	1	1						1	
		化学	化学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生化学Ⅰ	2 2 2 2	2 2 2 2	☆分子生命科学Ⅰ (生物有機化学) ☆分析化学	1 2	☆分子生命科学Ⅳ (医薬品合成化学) ☆分子生命科学Ⅶ (ケミカルバイオロジー)	1 1			13
		化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	1	1							1
		生物学	生物学	2	2	生理学	2	☆生命科学Ⅱ (行動神経生物学) ☆薬理学概論 ☆免疫学 ☆神経生物学 ☆発生生物学	1 2 2 2			13
		生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	1	1							1
		地学	☆生命科学Ⅰ (地球環境論)	1	1	○地学	1					2
		地学実験 (コンピュータ活用を含む。)				○地学実習	1					1
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)						○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ◎理科教育法Ⅲ	2 2 4				中8 高4	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			○教育原理	2							
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)	○教職概論	2									
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			○教育行政学	2							
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程					○教育心理学	1					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					○特別支援教育	1					
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			○教育課程論	2							
	道徳の理論及び指導法					◎道徳教育指導論	2					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習・探究の時間の指導法			○総合的な学習の時間の指導法	1							
	特別活動の指導法			○特別活動指導論	1							
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○教育方法・技術論	2									
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					○教育相談	2					
教育実践に関する科目	教育実習							○教育実習Ⅰ ◎教育実習Ⅱ	3 2		計 中7 高5	
	教育実践演習							○教職実践演習 (中・高)	2			
大学が独自に設定する科目						◎介護等体験 社会福祉施設等 5日間 特別支援学校 2日間	2				計 中2	
計: 63												
第66条の6で定める科目	日本国憲法	○法学(日本国憲法)	2								2	
	体育	○スポーツⅠ	1	○スポーツⅡ	1						2	
	外国語	Basic Academic English I Basic Academic English II Basic Academic English III Basic Academic English IV	1 1 1 1								4	
	情報機器の操作	情報科学Ⅰ ○情報科学Ⅱ	1 1								2	

[備考] 無印: 学科の必修科目。
 ☆: 教科に関する専門的事項の選択必修。15単位中5単位選択必修。
 ○: 教職課程履修者必修科目。
 ◎: 教職課程履修者必修科目。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は大学が独自に設定する科目となる。
 CAP対象外・GPA計算対象外科目: 「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)
 教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。

履修要項

生命科学部応用生命科学科 教職課程 教育課程表 2020年度(令和2年度)・2021年度(令和3年度)入学生に適用

履修要項

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目								免許状取得のための単位数	
		Grade1		Grade2		Grade3		Grade4			
		授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理 学	物理学 ☆放射化学	2:1	☆物理化学	2	☆生命科学Ⅲ (放射線生物影響論)	1			6	
		物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	1							1	
	化学 学	化学 生物無機化学	2:2			☆分子生命科学Ⅶ (生体物質分析化学)	1			5	
		化学実験 (コンピュータ活用を含む)	1							1	
	生物 学	生物学 分子生物学Ⅰ	2:2	分子生物学Ⅱ 分子細胞生物学Ⅰ 生化学Ⅱ ☆分子細胞生物学Ⅱ 生態学	2:2 2:2 2:2	☆応用生命科学Ⅴ (応用微生物学) ☆応用生命科学Ⅶ (環境生態学) ☆応用生命科学Ⅸ (ゲノム進化学)	1 1 1			17	
		生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	1							1	
	地 学			○地学	1					1	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む)			○地学実習	1					1	
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)						○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ	2 2 4			中8 高4
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			○教育原理	2					10
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む)		2	○教職概論								
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)			○教育行政学	2							
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程					○教育心理学	1					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					○特別支援教育	1					
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む)			○教育課程論	2							
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法					◎道徳教育指導論	2			計 中10 高8	
	総合的な学習・探究の時間の指導法			○総合的な学習の時間の指導法	1						
	特別活動の指導法			○特別活動指導論	1						
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)		2	○教育方法・技術論							
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法					○教育相談	2				
生徒指導の理論及び方法・進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む)の理論及び方法					○生徒・進路指導論	2					
教育実践に関する科目	教育実習					○教育実習Ⅰ ◎教育実習Ⅱ	3 2			計 中7 高5	
	教育実践演習					○教職実践演習 (中・高)		2			
大学が独自に設定する科目						◎介護等体験 社会福祉施設等 5日間 特別支援学校 2日間	2			2	
計: 63											
第66条の6で定める科目	日本国憲法	○法学(日本国憲法)	2							2	
	体育	○スポーツⅠ	1	○スポーツⅡ	1					2	
	外国語コミュニケーション	Basic Academic English I	1								4
		Basic Academic English II	1								
		Basic Academic English III	1								
Basic Academic English IV		1									
情報機器の操作	情報科学Ⅰ ○情報科学Ⅱ	1 1							2		

【備考】 無印：学科の必修科目。
 ☆：教科に関する専門事項の選択必修。10単位中3単位選択必修。
 ○：教職課程履修者必修科目。
 ◎：教職課程履修者必修科目。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は大学が独自に設定する科目となる。
 CAP対象外・GPA計算対象外科目：「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)
 教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。

生命科学部生命医科学科 教職課程 教育課程表 2020年度(令和2年度)・2021年度(令和3年度)入学生に適用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目								免許状取得のための単位数	
		Grade1		Grade2		Grade3		Grade4			
		授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後	授業科目	単位前後		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	○物理学 ※生命物理学 ※放射化学	2 2 1	※物理化学	2					7	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (物理)	1							1	
	化学	化学 有機化学Ⅰ ※有機化学Ⅱ 生物無機化学 生化学Ⅰ	2 2 2 2 2	※分子生命科学Ⅰ (生物有機化学) ※分析化学	1 2					13	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	1							1	
	生物学	生物学 分子生物学Ⅰ	2 2	分子生物学Ⅱ 生理学 分子細胞生物学Ⅰ 生化学Ⅱ 分子細胞生物学Ⅱ	2 2 2 2 2					14	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	1							1	
	地学	※生命科学Ⅰ (地球環境論)	1	○地学	1					2	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○地学実習	1					1	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)					○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ	2 2 4			中8 高4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			○教育原理	2					10	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校への対応を含む。)	○教職概論	2								
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			○教育行政学	2						
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程					○教育心理学	1				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					○特別支援教育	1				
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			○教育課程論	2						
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法					○道徳教育指導論	2			計 中10 高8	
	総合的な学習・探究の時間の指導法			○総合的な学習の時間の指導法	1						
	特別活動の指導法			○特別活動指導論	1						
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○教育方法・技術論	2								
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					○教育相談	2				
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法・進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法					○生徒・進路指導論	2				
	教育実習					○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	3 2			計 中7 高5	
教育実践演習					○教職実践演習 (中・高)	2					
大学が独自に設定する科目					○介護等体験 社会福祉施設等 5日間 特別支援学校 2日間	2			2		
計：63											
第66条の6で定める科目	日本国憲法	○法学(日本国憲法)	2							2	
	体育	○スポーツⅠ	1	○スポーツⅡ	1					2	
	外国語コミュニケーション	Basic Academic English I	1								4
		Basic Academic English II	1								
		Basic Academic English III	1								
Basic Academic English IV		1									
情報機器の操作	情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ	1 1							2		

【備考】 無印：学科の必修科目。

○：教職課程履修者必修科目。

◎：教職課程履修者必修科目。高校一種免許取得の場合は、選択科目又は大学が独自に設定する科目となる。

*：選択科目(履修は任意)。

CAP対象外：GPA計算対象外科目：「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等に関する科目」「教育実践に関する科目」「介護等体験」(以下これらをまとめて「教職専門科目」)

教育原理・教育行政学・教育心理学を除く教職専門科目については、該当年次以上の学生のみ履修可能。

履修要項

V 食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格について

指定された科目を習得することで、食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格を得ることができます。

※ 任用資格とは、その職種に就くために求められる国が定めた資格基準のことです。国の定めた任用資格の基準を満たしていれば、有資格者として認められます。これは、該当する職種として採用されると効力を持つ資格で、在職期間に限って通用するものです。

食品衛生管理者 食品や食品添加物を製造、加工する施設で、食品衛生法及び関連する法規や法令に基づいて製造過程に従事する者の指導監督を行います。

食品衛生監視員 官公庁において、食品衛生法に基づく食品製造業や飲食店等の営業施設の食品衛生上の監視ならびに指導や輸入食品の衛生監視等を行います。

※ 「食品衛生管理者」および「食品衛生監視員」の任用資格に関しては、編入生、転学部生は取得できません。ただし、これらの資格が取得できる学校（登録養成機関）からの編入生に関しては、指定された科目を履修することにより任用資格を取得することができます。

1 分子生命科学科

区 分	規 則 科 目 名	左記科目に該当する科目名	選択別		単位数			
			必	選択	必	選択		
A 群 化学関係	有機化学	有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	○ ○		2 2			
	無機化学	生物無機化学 化学	○ ○		2 2			
	小 計					8		
B 群 生物化学関係	生物化学	生物学 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 分子細胞生物学Ⅰ 分子細胞生物学Ⅱ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		2 2 2 2 2 2 2			
	生理学	生理学	○		2			
	小 計					16		
C 群 微生物学関係	微生物学	微生物学	○		1			
	小 計					1		
D 群 公衆衛生学関係	食品衛生学	食品衛生学	○		2			
	小 計					2		
A群からD群各1科目以上で、その合計で22単位以上を履修					合計(A+B+C+D)		27	
E 群 その他関連科目	その他類する科目 (生物・化学系)	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	○		1			
		基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	○		1			
		基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	○		1			
基礎生命科学実習Ⅱ		○		2				
基礎生命科学実習Ⅲ		○		2				
生命科学実習		○		3				
分子生命科学実習		○		2				
衛生統計学	生物統計学	○		2				
小 計					14			
A群からE群を含め40単位以上を履修					総計(A+B+C+D+E)		41	

2 応用生命科学科

区 分	規 則 科 目 名	左記科目に該当する科目名	選択別		単位数	
			必	選択	必	選択
A 群 化学関係	有機化学	有機化学Ⅰ	○		2	
	分析化学	分析化学	○		2	
	無機化学	生物無機化学	○		2	
		化学		○		2
小 計					8	
B 群 生物化学関係	生物化学	生物学	○		2	
		分子生物学Ⅰ	○		2	
		分子生物学Ⅱ	○		2	
		生化学Ⅰ	○		2	
		生化学Ⅱ	○		2	
		遺伝子工学	○		2	
		分子細胞生物学Ⅰ	○		2	
		生態学	○		2	
小 計					16	
C 群 微生物学関係	微生物学	微生物学	○		1	
	小 計					1
D 群 公衆衛生学関係	食品衛生学	食品衛生学	○		2	
	小 計					2
A群からD群各1科目以上で、その合計で22単位以上を履修 合計(A+B+C+D)					27	
E 群 その他関連科目	その他類する科目 (生物・化学系)	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	○		1	
		基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	○		1	
		基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	○		1	
		基礎生命科学実習Ⅱ	○		2	
		基礎生命科学実習Ⅲ	○		2	
		生命科学実習	○		3	
	応用生命科学実習	○		2		
衛生統計学	生物統計学	○		2		
小 計					14	
A群からE群を含め40単位以上を履修 総計(A+B+C+D+E)					41	

3 生命医科学科

区 分	規 則 科 目 名	左記科目に該当する科目名	選択別		単位数		
			必	選択	必	選択	
A 群 化学関係	有機化学	有機化学Ⅰ	○		2		
	無機化学	生物無機化学 化学	○ ○		2 2		
	小 計					6	
B 群 生物化学関係	生物化学	生物学	○		2		
		分子生物学Ⅰ	○		2		
		分子生物学Ⅱ	○		2		
		生化学Ⅰ	○		2		
		生化学Ⅱ	○		2		
		分子細胞生物学Ⅰ	○		2		
		分子細胞生物学Ⅱ 免疫学	○ ○		2 2		
生理学	生理学	○		2			
小 計					18		
C 群 微生物学関係	微生物学	微生物学	○		1		
	小 計					1	
D 群 公衆衛生学関係	食品衛生学	食品衛生学	○		2		
	小 計					2	
A群からD群各1科目以上で、その合計で22単位以上を履修					合計(A+B+C+D)	27	
E 群 その他関連科目	その他類する科目 (生物・化学系)	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	○		1		
		基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	○		1		
		基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	○		1		
		基礎生命科学実習Ⅱ	○		2		
		基礎生命科学実習Ⅲ	○		2		
		生命科学実習	○		3		
	生命医科学実習	○		2			
衛生統計学	生物統計学	○		2			
小 計					14		
A群からE群を含め40単位以上を履修					総計(A+B+C+D+E)	41	

VI ECO-TOP プログラムについて

本プログラムは、東京都環境局が行っている自然環境保全のための人材育成・認証制度である。持続可能な社会構築に向けた自然環境保全の実現のために、自然環境に関連する分野の幅広い知識と専門性を備え、アクティブに行動できる人材を育成し、社会へ送り出すことを目的としている。「環境に直接あるいは間接的に関連する科目」を履修することで、ECO-TOPプログラム修了者として認定される。修了者は、東京都の名簿に登録され、知事名の修了者登録証が発行される。

※ ECO-TOPプログラム履修対象者は、2021年度以降からの応用生命科学科入学生である。

1 履修について

ECO-TOPプログラムに履修申請の上、以下の要件を全て満たすことにより、修了者として認定される。

- (1) ECO-TOPプログラムのカリキュラムの必須科目と選択科目から構成される中から39単位以上取得すること。
- (2) ECO-TOPプログラムの自然科学、社会科学、人文科学の3分野において、1分野につき6単位以上取得すること。但し、1分野6単位に満たない場合は、他の分野から不足単位数を補填し、6単位以上とする。
- (3) インターンシップ科目である「応用生命科学X（ECO-TOPインターンシップⅠ）」及び「応用生命科学XI（ECO-TOPインターンシップⅡ）」は、2科目履修とし、あわせて2単位取得とする。

2 ECO-TOPプログラムインターンシップについて

実社会において自然環境に関連のある現場の実情を理解し、アクティブに行動できる人材を育成するため、企業、行政、NPO等におけるインターンシップを実施する。インターンシップは、「応用生命科学X（ECO-TOPインターンシップⅠ）」及び「応用生命科学XI（ECO-TOPインターンシップⅡ）」として、異なる2か所での現場実習として行われるものとする。

3 ECO-TOPプログラム課程表

履修要項

ECO-TOP 区分	Grade1		Grade2		Grade3		Grade4	
	科目名	単位数 前期 後期	科目名	単位数 前期 後期	科目名	単位数 前期 後期	科目名	単位数 前期 後期
必須科目 28単位	ECO-TOP 総合科目 4単位	応用生命科学概論	1					
		生命科学と社会 I (大学入門)	2					
		○生命科学 I (地球環境論)	1					
	自然科学 16単位	生物学	2	生物統計学	2	生命科学実習	3	
		基礎生命科学実習 I (化学)	1	分析化学	2			
		基礎生命科学実習 I (物理)	1	生態学	2			
		基礎生命科学実習 I (生物)	1	△地学	1			
			△地学実習	1				
	社会科学 4単位	情報科学 I	1			食品衛生学 ○人間科学V (環境経済学)	2	
	人文科学 4単位					English for Science I	1	生命と倫理
					English for Science II	1		
選択科目 9単位以上	自然科学 11単位	物理学	2	◎応用生命科学IV (資源生物工学)	1	◎応用生命科学V (応用微生物学)	1	
		○生命物理学	2			◎応用生命科学VI (環境生理学)	1	
		◎応用生命科学 I (多様性生物学)	1			◎応用生命科学VII (環境生態学)	1	
						○生命科学III (放射線生物影響論)	1	
					○分子生命科学V (生命計測化学)	1		
	社会科学 5単位	△情報科学 II	1	△人間科学III (経済学)	1	△生命科学と社会IV (応用演習)	1	
		△法学 (日本国憲法)	2					
	人文科学 4単位			△哲学	2			
			△科学史	2				
必須科目 2単位	インター ンシップ 2単位					◎応用生命科学X* (ECO-TOPイン ターンシップ I)	1	
						◎応用生命科学XI* (ECO-TOPイン ターンシップ II)	1	

【修了要件】 合計39単位以上 (必須科目28単位+インターンシップ2単位+選択科目9単位以上)

【備考】 本学科での区分

無印：必修科目 ○：選択専門科目 ◎：学科指定選択科目 △：選択総合科目 * 2科目同時履修とする

《認定基準について》 課程表の履修済科目を記入し、要件を満たすよう履修してください

年次	ECO-TOP 総合科目	自然科学		社会科学		人文科学		インター ンシップ
		必須	選択	必須	選択	必須	選択	
1年								
2年								
3年								
4年								
計	/4	/16		/4		/4		/2
総合計								
39単位以上								

VII 生命科学部で取得可能な資格

学生の皆さんは、今学んでいる内容が将来の自分とどのようにつながるのか？どのような職域の仕事につながるのかについて、興味と同時に多少の不安を抱えていることでしょう。そのようなときに、今学んでいる科目と関連する資格を考えて、就業できる仕事の内容をとらえ、学びと就職を考えてみることも有効でしょう。

生命科学部で取得可能な資格は、取得方法や時期によって大きく3つに分類できます。

1) 卒業時に取得できる資格

教員免許状は教職課程をすべて履修することによって取得できます。

食品衛生監視員と環境衛生監視員は、対応する試験区分で国や地方自治体の公務員試験に合格すると就業できる資格で、任用資格といわれています。生命科学部の卒業生が東京都などの食品衛生監視員としてすでに活躍しています。

2) 試験に合格すれば取得できる資格

在学中に試験に合格すれば取得することができる資格があります。生命科学部では技術士（補）となることができる技術士第一次試験の合格を支援しています。この試験に合格後、5年から7年の経験をへると、第二次試験の受験資格ができ、第二次試験の合格者が技術士となれます。産業界で「技術士」は、「博士」と同等に評価される称号です。

環境計量士や第一種放射線取扱主任者の資格は、環境計測や放射線関連では就業に有利な資格といわれています。

情報技術（IT）に興味のある方は、ITパスポート、基本情報技術者、また、バイオインフォマティクス技術者等の資格もキャリア形成に役に立ちます。

知的財産管理技能士は、発明や創作等を進める戦略を立案し、また、発明や創作などによって生み出される権利を活用する管理運営力を持つプロフェッショナルです。企業の知財部門や特許事務所が活躍の場となり、技術を開発し運用する部門では弁理士と共に大変重要な役割を担っています。

3) 卒業後、試験に合格すれば取得できる資格

第一種作業環境測定士の資格は、大学卒業後一定の実務経験、あるいは、資格取得を経て受験資格が得られます。労働衛生分野で重要な仕事に就くために必要な資格となります。

1 技術士第1次試験について

受験申し込みの期間は例年6月中旬から下旬で、試験は11月下旬に実施されます。

試験科目は、基礎科目（科学技術全般にわたる基礎知識）、適性科目（技術士等の義務の規定の遵守に関する適性）、そして、専門科目（あらかじめ選択する1技術部門に係る基礎知識及び専門知識）です。生命科学部の履修内容から比較的受験しやすい専門部門は、生物工学部門、環境部門、および、化学部門です。1-2年生の間に基礎（数学、物理、化学、生物、情報科学）をしっかりと学び、2-3年生で専門科目を積み上げることが合格につながります。

* 自分で計画的に勉強することが大切です。学生の皆さんの希望により、試験対策講座を開催予定です。また、日本技術士会のHPも参考にしましょう。

2 第一種放射線取扱主任者試験について

放射性同位元素あるいは放射線発生装置の使用施設では、放射線障害の防止について監督を行わせるため、事業所につき1名以上の主任者をおくことが法令で義務付けられています。その主任者免許を取得するための試験です。

例年8月下旬、2日間にわたって行われます。試験科目は①物理学、②化学、③生物学、④実務、⑤法令の5科目です。全問とも選択・マークシート方式ですが、曖昧な知識では正解の選択肢を選ぶことは困難な場合が多く、正確な知識が要求されます。全国の平均合格率は20～30%程度で、難しい国家試験の一つです。合格基準は各科目単独の得点が5割以上、かつ全科目の得点合計が6割以上です。不得意な科目でも最低5割得点し、得意科目で高得点をとれば合格可能です。

試験科目からわかるように、この試験に合格するためには生命科学系の基礎科目（高校数学を基礎とした物理学・化学・生物学）の力をつけることが大前提です。この試験と関連が深い講義は「放射化学」と「生命科学Ⅲ（放射線生物影響論）」です。上記5科目のうち、「放射化学」では物理学と化学、「生命科学Ⅲ（放射線生物影響論）」では生物学、実務、および法令に触れます。しかし講義の内容を理解するだけでは合格するための力は身につけません。これらの講義で用いる教科書は放射線取扱主任者試験の要点をまとめたものなので、この教科書を一通り読んで内容を理解し、さらに過去数年分の問題を掲載した過去問集（毎年1月に最新版が発行されます）を数回以上解きましょう。後期の期末試験が終了した後、春休み中（2月と3月）に教科書を通読しながら物理と化学（できれば生物学も）の過去問に取り組みましょう。そして4月からは実務（この分野は物理・化学・生物学に関する問題もかなり含まれます）や法令も本格的に勉強を始めれば、半年間かけて効率よく勉強できます。生命科学部からの合格者は主に3年生なので、通常は2年生の2月から対策を始めることとなりますが、中には2年生の合格者もいます。したがって意欲的な人は1年生の2月から勉強を始めましょう。生命科学部には第1種放射線取扱主任者の資格を持つ教員が5名在籍しており、受験のサポートを行っています。また、日本アイソトープ協会がスマートフォン用の受験対策アプリ（無料）を出しています。五肢択一式ですが、過去問と正答、解説があるので、すき間時間を利用した対策もできます。

この試験に合格するという事は基礎学力が備わっていることの証しにもなります。たとえ将来、放射線に関連する仕事に就かない人でも就職活動を有利に進められます。そして何よりも4年生から始まる研究活動を自信を持って始められます。

3 バイオインフォマティクス技術者試験について

バイオインフォマティクス (Bioinformatics) とは、生命科学と情報科学との学際領域のことです。

近年の生命科学と情報科学 (コンピュータ科学) の発展に伴い、両方の学問の知識や技術をバランスよく身に付けた人材の養成が、国内外を問わず求められています。「バイオインフォマティクス技術者」とは、日本バイオインフォマティクス学会が認定する、日本で唯一のバイオ情報に関する資格で、毎年11月下旬から12月上旬にCBT方式で行われています (<https://www.jsbi.org/activity/nintei/>)。生命科学分野、情報科学分野 (確率・統計も含む)、バイオインフォマティクス分野から、計60問出題されます (4者択一式)。

本学部のカリキュラムでは、出題範囲のうち生命科学分野は生物系の諸科目で、情報科学分野は生物統計学と情報系の諸科目でカバーしています。またバイオインフォマティクス分野は分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマティクス) で、認定試験の過去問を用いた演習を授業に取り入れたり、過去問をデータベース化したCBT (ComputerBasedTesting) と呼ばれる自習用支援サービスをCodexで提供しています。資格取得者は、民間および公的な研究施設やコンピュータ関連の企業で、バイオ情報処理やプログラム開発の分野において活躍することが期待されています。

4 知的財産管理技能検定について

知的財産とは、発明や創作によって生み出されたものを、発明者の財産として一定の期間保護する権利です。知的財産には、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、回路配置利用権などのさまざまな権利が含まれます。知的財産管理技能士は、このような知的財産を生み出し、活用し、利用して保護するための、開発戦略、マーケティング戦略、リスク管理や契約などを管理運営することについて知識と技能を身につけた職能人、すなわち、プロフェッショナルです。この資格は、国が認めた国家資格です。詳しくは、知的財産教育協会のホームページを参照ください (<http://www.kentei-info-ip-edu.org/>)。また、知的財産管理技能検定を、多くの企業が推奨・活用し、資格手当を与える企業も珍しくありません。

初歩レベルの3級受験には資格を問われません。中級レベルの2級の受験には、3級の合格あるいは実務経験が必要です。2級知的財産管理技能検定合格者は、企業の知財部門で業務を行う入り口にいる人材であると考えられています。1級知的財産管理技能士は、知的財産管理のスペシャリストと言える資格です。

VIII 資格案内のまとめ

1 卒業時に取得できる資格・認定

	資格名	公的資格	民間資格	主な職域など	資格試験内容(学内での履修コース)
1	教育職員免許状(一種)	○		教員	学部が教職課程科目を設けている。
2	食品衛生監視員	○		公務員(食品衛生監視員)	本学部は登録養成機関である。指定された科目を修得することで任用資格を得る。
3	食品衛生管理者	○		食品製造販売施設(企業)	本学部は登録養成機関である。指定された科目を修得することで任用資格を得る。
4	環境衛生監視員	○		公務員(環境衛生監視員)	卒業時に得られる。食品衛生監視員の任用と同一試験区分の自治体もあり注意が必要。
5	ECO-TOPプログラム認定	○		自然環境保全関連施設	応用生命科学科がECO-TOPプログラム科目を設けている。

2 試験に合格すれば取得できる資格

	資格名	公的資格	民間資格	主な職域など	資格試験内容(学内での履修コース)
6	第一種放射線取扱主任者	○		放射線取扱施設	8月下旬に2日間にわたり試験が実施される。放射線の物理・化学・生物学の知識、管理測定、法律の知識など。
7	上級バイオ技術者		○	民間のバイオ施設など	12月下旬に実施される。タンパク質、核酸、バイオ機器、バイオテクノロジーに関する知識を問う問題。
8	公害防止管理者	○		公害防止管理者法によって定められた特定工場	10月初旬に実施される。全13区分。公害総論、大気・水質の管理等に関する問題。環境計量士(計量士)の技術資格を有する場合、認定講習の受講による取得もできる。
9	環境計量士	○		一定規模以上の事業所およびそれらから委託を受けた環境分析機関	12月中旬に実施される。環境関連法規、化学、化学分析概論と濃度の計量、計量関係法規、計量管理概論など。
10	技術士(補)	○		技術士の補佐、技術士第1次試験に合格が必要	11月下旬に試験実施。理科の基礎知識と技術的専門知識。生命科学部では資格取得を奨励。
11	甲種危険物取扱者	○		危険物取扱事業所	年6回程度実施されている。危険物の化学と物理・法令など。
12	ITパスポート	○		一般企業、情報技術を活用するすべての職域	CBT方式。テクノロジ系、ストラテジ系、マネジメント系分野から出題される。
13	基本情報技術者	○		情報技術を実践的に活用する職域	CBT方式。科目Aは基礎知識、科目Bはプログラミングとアルゴリズム、セキュリティが出題される。
14	バイオインフォマティクス技術者		○	民間および公的な研究施設、コンピュータ関連の技術職	11月下旬ごろに実施される。分子生命科学VI(バイオインフォマティクス)
15	知的財産管理技能士	○		知的財産管理業務	知的財産に関する知識(ブランド保護、技術保護、コンテンツ保護、デザイン保護)、および、関係法規に関する学科試験と、課題発見、課題解決能力に関する実技試験。年3回の受験チャンスがある。
16	統計検定	○		統計を実践的に活用する職域	準1級や2級は希望日時で全国のパソコン教室等でCBT受験が可能。1級のみ紙ベースの試験が年1回。

3 卒業後、試験に合格すれば取得できる資格

	資格名	公的資格	民間資格	主な職域など	資格試験内容(学内での履修コース)
17	第一種作業環境測定士	○		有機溶剤、特定化学物質、放射性物質、鉱物性粉じんおよび金属類を取り扱う作業場	労働衛生や環境測定に関する試験。1年以上の労働衛生の実務経験を有するか、技術士などの有資格者が受験資格を有する。

関連する講義科目	試験のサポート	仕事の内容
P45～53参照		中学校・高等学校の理科教員。
P54～56参照		公務員試験（食品衛生監視員）に合格して、任用される。検疫所・保健所などに所属し、食品の安全性を保つための検査や指導を行う。また、食品製造所や飲食店の衛生監視および指導を行う。
P54～56参照		食品加工や製造を行う施設において、衛生面、安全面を監督する。一定規模以上の施設では設置を義務づけられている。
		公務員試験（環境衛生監視員）に合格して、任用される。保健所などに所属し、環境衛生に関係する施設に対して立入検査等の監視指導を行い、空気環境・水質その他の維持管理基準を満たすように監視指導を行う。
P57～58参照		ECO-TOPプログラムを修了することにより、東京都に修了者として登録される。自然環境保全分野で知識を生かすことができる。

関連する講義科目	試験のサポート	仕事の内容
放射化学、生命科学Ⅲ (放射線生物影響論)	講義内でのサポートに加え、説明会を開催	大学や民間の放射線取り扱い施設で、配置が義務付けられている。放射線の管理業務を主に行う。
遺伝子工学、応用生命科学Ⅷ (蛋白質工学)		主に民間施設におけるバイオ技術者として働く。
分析化学、分子生命科学Ⅴ (生命計測化学)	講義内で一部サポート	公害防止管理法によって定められた特定の工場において、選任が義務付けられている。公害の発生を防止するための施設等の管理を行う。
分析化学、分子生命科学Ⅴ (生命計測化学)、生物統計学	講義内で一部サポート	環境分析に関して、計量機器等の整備、計量の正確性の保持、計量の方法の改善（より良い分析方法などの変更）、その他に機器等の保管・検査、分析方法の決定（選定）、分析方法（操作）の指導、分析結果の確認を行う。また、事業所が法的な義務を負う計量証明書の発行には環境計量士による確認が必須。
化学、有機化学、生物学、 数学などと各専門科目	生命科学部が対策講座を開催	一定の経験の後に、技術士2次試験を受験し、技術士となる。高度な技術的知識を有する人材と認められ、技術業務の立案、設計、評価を行う。技術コンサルタントとして自立、あるいは、企業内で活躍する。
化学、有機化学、物理化学 などの化学系講義		一定量以上の危険物を取り扱う事業所に設置が義務付けられている。危険物の管理業務を行う。
情報科学Ⅰ、生命科学Ⅴ (計算機の論理とデータ構造)、 分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマティクス)	講義内で一部サポート	国家資格。情報技術だけでなく、財務諸表、企業経営についても学ぶことができ、就職活動に役立つ。
情報科学Ⅰ、情報科学Ⅱ、 情報科学Ⅲ、生命科学Ⅴ (計算機の論理とデータ構造)、 分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマティクス)	講義内で一部サポート	国家資格。合格すると、IT企業への就職が有利になる場合がある。資格手当や合格報奨金が出る企業もある。
分子生命科学Ⅵ (バイオインフォマティクス)	講義内でサポート、自習用演習システムあり	生物学と情報科学の知識をバランス良く身につけた技術者・研究者として、バイオ情報処理やプログラム開発の分野で活躍できる。
生命科学知財論	講義内で一部サポート	企業の知的財産管理部門や弁理士事務所業務に当たる。単に、特許出願のサポートをするだけでなく、社会の技術動向を踏まえて、社会で近い将来必要とされる新しい技術の内容と、開発戦略を立案しサポートすることも知的財産管理技能士の大切な業務。
生物統計学	講義内で一部サポート	統計的手法を身につけると、データ分析、研究開発、企画、販売、製造など、データを扱う全ての部門・職種で役立つ。

関連する講義科目	試験のサポート	仕事の内容
分析化学、分子生命科学Ⅴ (生命計測化学)		厚生労働大臣の指定登録機関での登録を受け、事業場における作業環境の維持管理を図り、労働者の健康保持に貢献する。作業環境測定に関する、デザイン・サンプリング、分析等の業務を遂行する。

Ⅸ キャリア・就職支援

未来の自分のために、目標を持って一日一日を大切に過ごしてください。
キャリアセンターでは、以下のキャリア・就職支援を行っていますので、積極的に参加してください。

【主なキャリア・就職支援】

●キャリア・進路ガイダンス（各学年）

各学年で進路ガイダンスを開催しています。学年ごとに、必要な内容をテーマに開催しているのが特長です。特に3年次（および修士1年）については、就職活動の流れに沿った内容で複数回実施しています。

●講座

コミュニケーション力や就職意識を高めるためのワークや社会人として必要なマナー、就職活動に必要な対策などを各分野の専門家により実施しています。

●業界・職種研究セミナー、企業合同フォーラム

各企業の採用担当者やOB・OGと大学構内で直接話すことができる説明会です。採用実績のある製薬企業、CRO（治験受託企業）、化学、食品、化粧品、出版、情報サービスなど多くの幅広い分野の企業が参加します。

●インターンシップ

学生が就業体験を行うインターンシップにも力を入れています。3年次（および修士1年）に製薬・CRO・化学・分析、出版など多くの企業で就業体験ができます。仕事の理解や自分の適性を知る上で役立ちます。履修の場合は、選択総合科目1単位が取得できます。

●進路に関する相談やトレーニングなど

自分にふさわしい進路を選択するためには、しっかりとした自己分析が欠かせません。キャリアセンターでは、業界出身のキャリアコンサルタントが進路相談、グループディスカッション、自己PR、模擬面接や履歴書・エントリーシートのアドバイスなどを随時行っています。

●その他

SPI等の適性検査の模擬試験、公務員模擬試験、公務員試験対策講座などの支援を行っています。

2024年度 キャリア・就職支援スケジュール

対象	月（予定）	内容
1年生	4月	進路ガイダンス「キャリアとは?」「キャリア活用」
2年生	4月	進路ガイダンス「キャリアデザイン」
	5月	適職診断テスト「CPS-J」オンライン受験
	1月	スタートアップ①「自己分析」
		スタートアップ②「自己表現力アサーション」
スタートアッププラス②「職能理解「製薬」		
スタートアッププラス③「自分が作るキャリアデザイン」		

対象	月(予定)	内 容
3年生 (修士1年生)	4月	進路ガイダンス「就活準備」&就職サイト登録会
		企業志望者ガイダンス
		インターンシップ徹底攻略講座①基礎編
		インターンシップ徹底攻略講座②自己分析
		インターンシップ徹底攻略講座③業界研究
	インターンシップ徹底攻略講座④エントリーシート作成	
	5月	医療業界(医薬品関連)の職種研究講座
		適職診断テスト「CPS-J」オンライン受験 ※6月の「自己分析講座」で解説します。
		適性検査対策講座(動画)&オンライン模試
		学内認定・公募制インターンシップ説明会
	6月	重要スキルを知る講座(自己PR、面接&Web動画対策)
		学内認定・公募制インターンシップ事前教育会① ※参加者のみ
		学内認定・公募制インターンシップ事前教育会② ※参加者のみ 自己分析講座
	7月	ビジネスマナー講座
	8月	学内認定インターンシップ(就業体験) ※参加者のみ
	9月	後期インターンシップ準備講座
		学内認定・公募制インターンシップ報告会 ※参加者発表 業界・職種研究セミナー(CRO)
	10月	業界・職種研究セミナー(製薬・医療機器)
	11月	論作文対策講座
		適性検査対策講座①(全4回)
12月	業界・職種研究セミナー(化学・医療機器・食品・情報IT)	
	適性検査対策講座②~④(全4回)	
1月	ES書き方・面接対策講座	
2月	企業合同フォーラム	
随時	ES・履歴書添削・模擬面接・GD・自己PR・時事問題 他	
4年生 (修士2年生)	4月	進路ガイダンス「進路・内々定について」
	5・6・9月	就活生のための相談会
	随時	ES・履歴書添削・模擬面接・GD・自己PR・時事問題 他
全学年	6月	第1回TOEIC
	7月	公務員研究ガイダンス
	8月	夏季集中公務員試験対策講座
	9月	学内認定・公募制インターンシップ報告会 ※3年生・修士1年生発表、1~3年生聴講
	10月	就職活動体験発表会(生命・大学院編) ※4年生・修士2年生発表、1~3年生・修士1年生聴講
	11月	第2回TOEIC
	2月	冬季集中公務員試験対策講座
随時	個別進路相談	

※ 内容・スケジュールは、変更・追加になる場合があります。

X 生命科学部の研究室と教員

※各教員のオフィスアワーは別途学期中に周知する。

分子生命科学科

研究室	氏名	役職
分子神経科学	山内 淳司	教授
	森本 高子	准教授
	関 洋一	助教
生物有機化学	伊藤 久央	教授
	小林 豊晴	准教授
	川本 諭一郎	助教
生命分析化学	梅村 知也	教授
	内田 達也	准教授
	熊田 英峰	講師
	青木 元秀	助教
創薬化学	林 良雄	教授
	藤川 雄太	准教授
	尹 永淑	助教
細胞情報科学	伊藤 昭博	教授
	前本 佑樹	助教
生物情報科学	小島 正樹	教授
生命物理科学	高須 昌子	教授
	野口 瑶	助教

言語教育研究センター

(生命科学部・言語科学研究室 兼務)

氏名	役職
萩原 明子 (分子生命科学科教員)	教授
佐々木 友美 (分子生命科学科教員)	准教授

情報教育研究センター

氏名	役職
森河 良太 (分子生命科学科教員)	准教授

生命科学実習センター

氏名	役職
玉腰 雅忠 (応用生命科学科教員)	准教授
橋本 吉民 (生命医科学科教員)	助教

応用生命科学科

研究室	氏名	役職
環境応用植物学	藤原 祥子	教授
	佐藤 典裕	准教授
	岡田 克彦	助教
環境生物学	新開 泰弘	教授
	梅村 真理子	講師
	中野 春男	助教
食品科学	熊澤 義之	教授*
	時下 進一	准教授
	志賀 靖弘	助教
生命エネルギー工学	渡邊 一哉	教授
	高妻 篤史	助教
生物工学	富塚 一磨	教授*
	横堀 伸一	准教授
	宇野 愛海	助教
応用生態学	野口 航	教授
	溝上 祐介	助教

※ 実務経験を有する教員

■実務経験教員および担当科目について

実務経験教員とは、医療機関で医師として医療に従事した経験を持った教員や、一般企業等での開発職に従事した経験のある教員を指し、科目では、実務に直結した実践的な教育もさることながら、社会的意義の習得と卒業後の社会活動への意欲向上を目的として教育・指導を行っている。なお、実務経験教員が担当する科目は実務経験科目一覧のページ(P42)にて示している。

生命医科学科

研究室	氏名	役職
感染制御学	新崎恒平	教授
	井上弘樹	講師
	若菜裕一	助教
ゲノム情報 医科学	細道一善	教授
	土方敦司	准教授
	佐藤礼子	講師
	米田敦子	講師
再生医科学	山口智之	教授
	長島駿	講師
	福田敏史	講師
	及川真実	助教
幹細胞制御学	平位秀世	教授*
	伊東史子	准教授
	横田明日美	助教
腫瘍医科学	原田浩徳	教授*
	小林大貴	助教
	結城加奈子	助教
免疫制御学	田中正人	教授*
	四元聡志	助教
細胞防御医科学	丸山剛	教授

※ 実務経験を有する教員

教職課程研究室

氏名	役職
加島大輔	教授
内田隆	准教授

非常勤講師

教員氏名	
青木孝博	近藤弘美
Andrea D. LITTLE	櫻井浩子
Ian HENDERSON	清水政義
石飛昌光	霜田浩信
市石博	武井大輔
今井光子	田子健
Wilma Hara	溜田信
上岡祥邦	Thorsten Daniel MICHALAK
宇田光	内藤麻緒
岡田大士	永島昇太郎
加藤暁子	中山晏里
加藤正和	John KAROUKIS
加藤三和	西川玲子
川野智弘	西田洋平
金鎮淑	野木園子
木村真実	古澤輝由
工藤亘	前原裕樹
黒川哲治	三ツ橋愛
権蛇千香	頼明

招聘講師

教員氏名
大塩立華
杉本薫
林真理

XI 研究棟について

研究棟（研究3号館・研究4号館）は、教員の研究の場です。ここから新しい発見が、そして世界に冠たる研究が生まれるでしょう。

学生諸君も、ゼミの時だけでなく、何か知りたい時、勉強したい時、そして教職員と親しく話したい時、オフィスアワーを積極的に活用して遠慮なく研究棟を訪れてください。きっと新しい何かが見えてくるでしょう。

研究棟（研究3号館・研究4号館）では次のことに注意してください

- 1) 研究・思考の場ですから、静穏に保ちましょう。
- 2) 実験の場を清潔に保ちましょう（土足厳禁）。
- 3) 特別な場合を除いて、近い階は、なるべく階段を使用しましょう
（研究や様々な業務に差し支える時があります）。
- 4) 研究棟に設置されている実験用の製氷機は飲用には使えません。気をつけてください。

XII 自習時間におけるコンピュータ使用について

1 2107コンピュータ室（コンピュータ端末室）の利用

生命科学部の学生なら誰でも自習時間（よろづ相談室）にコンピュータ端末（iMac 36台、mac OS およびWindowsの両方を起動できます）を使うことができます。

授業の時と違い、自分のペースでコンピュータに触れる良い機会ですから、大いに利用してください。その際、みんなが気持ち良く使うために、最低限ルールを守ってください。

1) 禁煙、飲食厳禁および持ち込み禁止

万が一食べ物や飲み物がコンピュータにかかった場合、故障の原因となります。

2) 私語厳禁

他の学生の迷惑になりますので、慎んでください。

3) 個人所有のコンピュータ・ソフトウェアのインストールの禁止

フリーウェアや、市販のソフトなどをコンピュータ端末室のiMacで勝手に使用しないでください。コンピュータ・ウィルスがネットワークに入るとさまざまな問題を引き起こす恐れがあり、また、授業の妨げにもなります。また、パソコンの固定ディスクにインストールされている市販のソフトウェアをコピーすることも厳禁です。Cabosなどのファイル共有ソフトやゲーム等、自分で持ち込んだソフトウェアも絶対に使用しないでください。

4) 機械の扱いは丁寧に！

コンピュータは精密な機械ですから、少しのことで調子が狂ってしまうことがあるので、丁寧に扱ってください。また、許可なくコンピュータの電源コードやネットワークコンセントを取りはずして、自分のノートパソコンを接続しないでください。教室内の端末のネットワーク設定に障害を与えることがあります。

5) 個人のノートパソコンの使い方に関する質問について

自習時間に自分のノートパソコンの使い方やトラブルについて、教員やアシスタントの学生（TA：ティーチングアシスタント）に質問することができます。その場合は自分のノートパソコンを必ず持参してください。

6) 衛生的な環境を保つ

ほこり、水分などでも傷みます。手の汚れなどに気をつけてください。また、床を損傷させるような靴、履物を着用して入室しないでください。

7) 自習時間の終了

自習時間終了の5分前になったら、コンピュータ端末の終了の準備をしてください。

(1) 利用時間

コンピュータ自習時間表は、学期始めにコンピュータ端末室および生命科学事務課前の各学年の掲示板に掲示します。

(2) 困った時等

わからなくなったら、教員もしくはTAに聞いてください。また、TAの指示には従ってください。

2 学内におけるノートパソコンの利用上の注意

ノートパソコンを学内で有効に利用するにあたって、次の事項に留意してください。

1) 各自が責任をもって管理すること

紛失、盗難にあわないように十分に気をつけること。

2)ロッカーに保管するときは、しっかり施錠すること。

簡易のものでなく、しっかりした施錠にすること。

最近では学内における盗難事件が頻発しています。施錠しても壊される場合があるので、ロッカーに入れたまま帰宅しないこと。

3) バッテリーは充電しておくこと

大学に持参するときは各自、家で充電しておくこと。また、学内の利用可能なコンセントから充電している最中にその場を離れる場合は、盗難に十分注意すること。

4) 学内ネットワーク (TYCOON) を利用するためには

必修総合科目「情報科学 I」を受講することが前提となります。当授業では学内ネットワークの利用方法とそのためユーザ登録について学びますので、**それに合格するまでは「仮免許」での利用となります**。なお生命科学部の全ての講義室と実習室、学生会館や図書館において、無線LANを用いてノートパソコンを学内ネットワークに接続して使用することができます(学生会館PIT、教育4号館および2104講義室では有線LANも使えます)。詳しくは冊子『CAMPUS LIFE』をご覧ください。

5) ソフトウェアの違法コピーは厳禁 (著作権)

音楽や映像のデータ、およびアプリケーション等のソフトウェアは、著作権として法律によって守られています。これらの違法なコピーやダウンロードは行わないこと。また、これらの**違法行為を助長するファイル共有ソフトやWebサイトの学内における利用を禁止**します。

6) 使用上の問題や疑問が生じたときは

「情報科学 I」の授業で配布される資料や冊子『CAMPUS LIFE』を参照し、できるだけ自分で勉強し解決できるよう心がけること。試行錯誤しても解決できない場合は、「情報科学 I」の担当教員またはTAに相談すること。

7) 「東京薬科大学生協」で生命科学部指定パソコンを購入した学生

不具合、故障等が発生した時には原則として「東京薬科大学生協」で対応してくれます。

また、大学生協PC保障サービス(延長修理保証+動産総合保証)の適用を受けることができる上、修理中にレポート作成等の自宅学習が必要な場合はパソコンの貸し出しが受けられます(ただし貸出数に上限あり)。詳しくは下記生協にて確認すること。

東京薬科大学生活協同組合

TEL / 042-676-6368

営業 / 10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日閉店)

場所 / 学内 学生会館

E-Mail / toyakucoop@univ.coop

XIII Codex におけるファイル（レポート）提出について

ICT（情報通信技術）の進歩により、課題レポートを紙媒体ではなく情報ネットワークを通じて提出する大学が増えています。本学部でもオンライン学習管理システム“Codex（コデックス）”を利用して、課題やレポートをファイルの形式で提出（アップロード）する機会が多くあります。

Codexを通じたレポートの提出方法には、「課題」、「Turnitin課題2」の2つがあります。どの方法でレポートの提出を行うかは、講義や実習によって異なりますが、次のように共通する注意事項がありますので、予めよく読んでおいてください。

- 1) **担当教員の指示**をしっかりと聴き（読み）、理解した上でレポートファイルを提出しましょう。Codex内のレポート提出画面だけでレポートの提出要領を直感的に把握しようとするのは、間違いの元です。
- 2) アップロードする**ファイルの名前は、[半角英数字] + [拡張子]**としましょう。全角文字（カナ漢字等）で問題ない場合もありますが、一般的にトラブルが起きやすいので使用を避けましょう。またファイル名内に空白（スペース）を入れないでください。
- 3) 文書中で**機種依存文字（環境依存文字）を使わないでください**（ローマ数字や丸数字等）。使って問題ない文字については、東京薬科大学『CAMPUS LIFE』の情報教育研究センターの章に記載されていますので、是非一度お読みください。
- 4) レポートファイルの提出後、**提出が完了しているか、必ず確認してください**。確認はファイルを提出した最初のウェブ画面で行うことができます。
- 5) レポートファイルをうまくアップロードできない場合、その原因のほとんどは提出者本人の操作方の誤りにあります。しかしどうしてもアップロードできない場合は、担当教員に電子メール等で連絡し、別のレポート提出方法を相談するようにしてください。また**ファイルをアップロードできなかったことは、レポートの提出が遅れた理由にはなりません**。レポートの作成と提出は、十分に余裕を持って行うことが必要です。

他にも、ウェブ画面上で直接文章を書き込み、課題を提出する方法である「**オンラインテキスト**」もありますが、提出がきちんと行われたかどうかを必ず確認してください。

なおCodexにおける課題提出法の一つである「**課題**」について、例を挙げながら具体的な操作方法を示します。

※ 説明図は実際の画面と異なる場合があります。

- (1) レポート提出に関するリンクをクリックすると、課題を追加（提出）する画面が表示されますので、「課題を追加する」ボタンをクリックします。

提出ステータス

提出ステータス	未提出
評定ステータス	未評定
終了日時	2016年 02月 1日(月曜日) 00:00
残り時間	6日 5時間
最終更新日時	2016年 01月 25日(月曜日) 18:18
提出コメント	▶ コメント (0)

あなたの提出に変更を加えます。

- (2) 四角い点線の枠が表示されるので、その中に提出するレポートファイルをドラッグ&ドロップし、「変更を保存する」ボタンをクリックします。

ファイル提出

新しいファイルの最大サイズ: 20MB / 最大添付: 1

▶ ファイル

ここにドラッグ&ドロップして、ファイルを追加することができます。

- (3) 課題の提出画面に戻ります。「ファイル提出」と書かれた欄に表示されたファイル名とそのアイコンを確認します。アップロードした課題ファイルの名前とアイコンが表示されていれば、提出完了です。

提出ステータス

提出ステータス	評定のため提出済み
評定ステータス	未評定
終了日時	2016年 02月 1日(月曜日) 00:00
残り時間	6日 5時間
最終更新日時	2016年 01月 25日(月曜日) 18:21
ファイル提出	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> Kadai_Morikawa.pdf </div>
提出コメント	▶ コメント (0)

あなたの提出に変更を加えます。

なお、「最終更新日時」の欄に表示された日時が、課題を提出した日時になります。
 また「課題を提出する」ボタンが表示されている場合は、課題の提出は未だ完了していません。
 注意してください。

XIV カリキュラムについて

1 分子生命科学科 カリキュラムマップ

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
1 専門的総合力を高める科目、卒業研究関連科目	1 実習				1111	基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	2111	基礎生命科学実習Ⅱ	2112	基礎生命科学実習Ⅲ		
					1112	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)						
					1113	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)						
	2 卒業研究											
	3 総合演習						2131	生命科学特別演習Ⅰ	2132	生命科学特別演習Ⅱ		
	2 学修動機や汎用的能力を高める科目	1 導入、動機付け、協調的課題解決能力		1211	分子生命科学ゼミナール							
				1212	分子生命科学概論							
2 汎用的能力、動機付け、協調的課題解決能力			1221	生命科学と社会Ⅰ(大学入門)			2221	生命科学と社会Ⅱ(演習)			2222	生命科学と社会Ⅲ(卒業生に学ぶ未来)
										2223	生命科学と社会Ⅳ(サイエンスコミュニケーション)	
3 情報リテラシー			1231	情報科学Ⅰ	1232	情報科学Ⅱ			2231	情報科学Ⅲ		
4 生命倫理、科学倫理												
5 知財												
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目		1 英語		1311	Basic Academic EnglishⅠ	1313	Basic Academic EnglishⅢ	2311	Intermediate Academic EnglishⅠ	2313	Intermediate Academic EnglishⅡ	
				1312	Basic Academic EnglishⅡ	1314	Basic Academic EnglishⅣ	2312	Intermediate Academic EnglishⅡ	2314	Intermediate Academic EnglishⅣ	
							2315	English and Science in the USA				
	2 その他の言語						2321	言語と文化Ⅰ(ドイツⅠ)	2322	言語と文化Ⅱ(ドイツⅡ)		
							2323	言語と文化Ⅲ(フランスⅠ)	2324	言語と文化Ⅳ(フランスⅡ)		
							2325	言語と文化Ⅴ(中国Ⅰ)	2326	言語と文化Ⅵ(中国Ⅱ)		
							2327	言語と文化Ⅶ(韓国Ⅰ)	2328	言語と文化Ⅷ(韓国Ⅱ)		

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前期		後期		前期		後期			
ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名		
3111	生命科学実習	3112	分子生命科学 実習					a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
				4121	卒業論文研究〈通年〉			a,b,d	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
				4122	生命科学特講Ⅰ	4123	生命科学特講Ⅱ	a,e	4,6,7,8,9,10,11,12,13
				4124	ゼミナールⅠ	4125	ゼミナールⅡ	a,b	4,6,8,9,10,11,12,13
3131	生命科学特別 演習Ⅲ	3132	生命科学特別 演習Ⅳ					a,b,d,e	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
								b,c	4,5,6,7,8,9,10,11,12,13
								b,c	6,8,10
								b,c	1,2,3,4,5,6,8,9,12,13
								b,c	2,6,8,11,13
3221	生命科学と社会Ⅳ (応用演習)	3222	生命科学と社会Ⅴ (開発・起業企画)					b,c	5,6,8,9,10,11,12,13
		3223	生命科学と社会Ⅵ (Global Perspective)					b,e	6,8,10,13,14
3224	インターンシップ	3224	インターンシップ					b,c	1,2,3,4,5,6
								a,b	3,6
								a	3,6
						4241	生命と倫理	a	6,12,13,14
		3251	生命科学知財論					a	6,8,14
3311	Advanced Academic EnglishⅠ	3313	Advanced Academic EnglishⅢ					e	4,7,11
3312	Advanced Academic EnglishⅡ	3314	Advanced Academic EnglishⅣ						
3315	English for ScienceⅠ	3316	English for ScienceⅡ					e	4

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

1 分子生命科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目	3 その他の人文社会科学系科目				1331 法学(日本国憲法)							
				1332	人間科学Ⅰ(教育学)			2331	哲学			
								2332	科学史			
								2333	人間科学Ⅱ(外国文学)			
										3331	人間科学Ⅲ(経済学)	
	4 健康			1341	スポーツⅠ					2341	スポーツⅡ	
4 数学・物理学・生物情報科学系の科目	1 数学			1411	数学Ⅰ	1412	数学Ⅱ					
	2 生物情報科学							2421	生物統計学			
	3 物理学			1431	物理学	1432	生命物理学					
5 化学系の科目	1 一般化学・物理化学			1511	化学	1512	生物無機化学	2521	分析化学	2522	物理化学	
						1513	放射化学					
	2 有機化学			1521	有機化学Ⅰ	1522	有機化学Ⅱ					
6 生物学系の科目	1 一般生物学			1611	生物学							
	2 生化学					1621	生化学Ⅰ	2621	生化学Ⅱ			
	3 分子生物学					1631	分子生物学Ⅰ	2631	分子生物学Ⅱ	2632	遺伝子工学	
	4 細胞生物学					1641	微生物学	2641	分子細胞生物学Ⅰ	2642	分子細胞生物学Ⅱ	
	5 その他							2651	生理学	2652	生態学	
7 その他の専門系の科目	1 食品衛生											
	2 薬科学									2721	創薬概論	
	3 地学・環境保全										2731	地学
											2732	地学実習
									2741	分子生命科学Ⅰ(生物有機化学)		
	4 分子生命科学科 選択必修								2742	分子生命科学Ⅱ(天然医薬品化学)		
	5 応用生命科学科 選択必修						1751	応用生命科学Ⅰ(多様性生物学)	2751	応用生命科学Ⅱ(植物生理学)	2752	応用生命科学Ⅲ(応用食品科学)
											2753	応用生命科学Ⅳ(資源生物工学)

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名		
								a,e	6,10,14
								a	4,6,10
								a	7
3333	人間科学V (環境経済学)							a	6,8,9,10
3332	人間科学IV (Cultural Diversity)							b,e	6,8,10,13,14
								c	1,3,4,5
								a	6,10
								a	6,10
								a	6,10,12
								a	6,10
3651	免疫学	3652	発生生物学						
		3653	神経生物学						
		3711	食品衛生学						
3721	薬理学概論							a	6,8,9,10
								a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
3743	分子生命科学V (生命計測化学)	3741	分子生命科学III (細胞の物理生 物学)						
3742	分子生命科学IV (医薬品合成化学)	3745	分子生命科学VII (ケミカル/バイ オロジー)						
3744	分子生命科学VI (バイオインフォ マティクス)	3746	分子生命科学VIII (生体物質分析 化学)						
		3747	分子生命科学IX (医薬品化学)						
3751	応用生命科学V (応用微生物学)	3755	応用生命科学IX (ゲノム進化学)					a	6,8,9,10
3752	応用生命科学VI (環境生理学)								
3753	応用生命科学VII (環境生態学)								
3754	応用生命科学VIII (蛋白質工学)								
3756	応用生命科学X (ECO-TOPイン ターンシップI)	3757	応用生命科学XI (ECO-TOPイン ターンシップII)						

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

1 分子生命科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
7 その他の 専門系の科目	6 生命医科学 科選択必修			1761	生命医科学Ⅰ (生命医科学特講Ⅰ)	1762	生命医科学Ⅱ (解剖生理学)					
	7 その他 生命科学部 として特徴 のある科目						1771	生命科学Ⅰ (地球環境論)			2772	生命科学Ⅳ (基礎情報学)
									2773	生命科学ゼミ ナールⅠ	2774	生命科学ゼミ ナールⅡ
	8 初等科目		1782	初等物理学								
			1784	初等生物学								
	8 教職に関する 科目	1 教科及び教科 の指導法に関 する科目										
2 教育の基礎的理 解に関する科目						1821	教職概論	2821	教育原理	2823	教育課程論	
								2822	教育行政学			
3 道徳、総合的な 学習の時間等 の指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目										2832	特別活動指導論	
							1831	教育方法・ 技術論				
							1832	ICT活用の 理論と実践				
4 教育実践に 関する科目												
5 介護等体験												

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名		
3761	生命医科学Ⅲ (生命医科学 特講Ⅱ)	3763	生命医科学Ⅴ (腫瘍医科学)					a	6, 8, 9, 10
3762	生命医科学Ⅳ (発生再生医学)	3765	生命医科学Ⅶ (代謝医科学)						
3764	生命医科学Ⅵ (分子病理学)	3766	生命医科学Ⅷ (感染医科学)						
		3767	生命医科学Ⅸ (ゲノム医科学)						
		3768	生命医科学Ⅹ (ゲノム情報 医科学)						
3771	生命科学Ⅱ (行動神経生 物学)	3774	生命科学Ⅶ (アドバンス 薬理学)						
3772	生命科学Ⅲ (放射線生物 影響論)	3775	生命科学Ⅷ (アドバンス 薬剤学)						
3773	生命科学Ⅴ (計算機の論理 とデータ構造)							a,b	4, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3776	生命科学ゼミ ナールⅢ	3777	生命科学ゼミ ナールⅣ (英語で学ぶ 生命科学)					a,b,e	6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
								a	6
3811	理科教育法Ⅰ	3812	理科教育法Ⅱ					a,b	2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3813	理科教育法Ⅲ								
3821	教育心理学								
3822	特別支援教育								
		2831	道徳教育指導論						
2833	総合的な学習の 時間の指導法								
3831	教育相談								
		3832	生徒・ 進路指導論						
				4841	教育実習Ⅰ				
				4842	教育実習Ⅱ				
						4843	教職実践演習 (中・高)		
3851	介護等体験								

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

2 応用生命科学科 カリキュラムマップ

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容			
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2			
				前期		後期		前期		後期	
中分類	小分類	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名		
1 専門的総合力を高める科目、卒業研究関連科目	1 実習			1111	基礎生命科学実習Ⅰ(化学)		2111	基礎生命科学実習Ⅱ	2112	基礎生命科学実習Ⅲ	
				1112	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)						
				1113	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)						
	2 卒業研究										
	3 総合演習						2131	生命科学特別演習Ⅰ	2132	生命科学特別演習Ⅱ	
2 学修動機や汎用的能力を高める科目	1 導入、動機付け、協調的課題解決能力		1211	応用生命科学ゼミナール							
			1212	応用生命科学概論							
	2 汎用的能力、動機付け、協調的課題解決能力		1221	生命科学と社会Ⅰ(大学入門)			2221	生命科学と社会Ⅱ(演習)			
									2222	生命科学と社会Ⅱ(卒業生に学ぶ未来)	
									2223	生命科学と社会Ⅶ(サイエンスコミュニケーション)	
	3 情報リテラシー		1231	情報科学Ⅰ	1232	情報科学Ⅱ					
	4 生命倫理、科学倫理						2231	情報科学Ⅲ			
	5 知財										
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目	1 英語		1311	Basic Academic English I	1313	Basic Academic English III	2311	Intermediate Academic English I	2313	Intermediate Academic English II	
			1312	Basic Academic English II	1314	Basic Academic English IV	2312	Intermediate Academic English II	2314	Intermediate Academic English IV	
							2315	English and Science in the USA			
	2 その他の言語						2321	言語と文化Ⅰ(ドイツⅠ)	2322	言語と文化Ⅱ(ドイツⅡ)	
							2323	言語と文化Ⅲ(フランスⅠ)	2324	言語と文化Ⅳ(フランスⅡ)	
							2325	言語と文化Ⅴ(中国Ⅰ)	2326	言語と文化Ⅵ(中国Ⅱ)	
						2327	言語と文化Ⅶ(韓国Ⅰ)	2328	言語と文化Ⅷ(韓国Ⅱ)		

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前期		後期		前期		後期			
ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名		
3111	生命科学実習	3112	応用生命科学 実習					a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
				4121	卒業論文研究〈通年〉			a,b,d	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
				4122	生命科学特講Ⅰ	4123	生命科学特講Ⅱ	a,e	4,6,7,8,9,10,11,12,13
				4124	ゼミナールⅠ	4125	ゼミナールⅡ	a,b	4,6,8,9,10,11,12,13
3131	生命科学特別 演習Ⅲ	3132	生命科学特別 演習Ⅳ					a,b,d,e	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
								b,c	4,5,6,7,8,9,10,11,12,13
								b,c	6,8,10
								b,c	1,2,3,4,5,6,8,9,12,13
								b,c	2,6,8,11,13
3221	生命科学と社会Ⅳ (応用演習)	3222	生命科学と社会Ⅴ (開発・起業企画)					b,c	5,6,8,9,10,11,12,13
		3223	生命科学と社会Ⅵ (Global Perspective)					b,e	6,8,10,13,14
3224	インターンシップ	3224	インターンシップ					b,c	1,2,3,4,5,6
								a,b	3,6
								a	3,6
						4241	生命と倫理	a	6,12,13,14
		3251	生命科学知財論					a	6,8,14
3311	Advanced Academic EnglishⅠ	3313	Advanced Academic EnglishⅢ					e	4,7,11
3312	Advanced Academic EnglishⅡ	3314	Advanced Academic EnglishⅣ						
3315	English for ScienceⅠ	3316	English for ScienceⅡ					e	4

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

2 応用生命科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目	3 その他の人文社会科学系科目				1331 法学(日本国憲法)							
				1332	人間科学Ⅰ(教育学)			2331	哲学			
								2332	科学史			
								2333	人間科学Ⅱ(外国文学)			
									3331	人間科学Ⅲ(経済学)		
	4 健康			1341	スポーツⅠ					2341	スポーツⅡ	
4 数学・物理学・生物情報科学系の科目	1 数学			1411	数学Ⅰ	1412	数学Ⅱ					
	2 生物情報科学							2421	生物統計学			
	3 物理学			1431	物理学	1432	生命物理学					
5 化学系の科目	1 一般化学・物理化学			1511	化学	1512	生物無機化学	2521	分析化学	2522	物理化学	
						1513	放射化学					
	2 有機化学			1521	有機化学Ⅰ	1522	有機化学Ⅱ					
6 生物学系の科目	1 一般生物学			1611	生物学							
	2 生化学					1621	生化学Ⅰ	2621	生化学Ⅱ			
	3 分子生物学					1631	分子生物学Ⅰ	2631	分子生物学Ⅱ	2632	遺伝子工学	
	4 細胞生物学					1641	微生物学	2641	分子細胞生物学Ⅰ	2642	分子細胞生物学Ⅱ	
	5 その他							2651	生理学	2652	生態学	
7 その他の専門系の科目	1 食品衛生											
	2 薬科学									2721	創薬概論	
	3 地学・環境保全										2731	地学
											2732	地学実習
									2741	分子生命科学Ⅰ(生物有機化学)		
	4 分子生命科学科 選択必修								2742	分子生命科学Ⅱ(天然医薬品化学)		
	5 応用生命科学科 選択必修						1751	応用生命科学Ⅰ(多様性生物学)	2751	応用生命科学Ⅱ(植物生理学)	2752	応用生命科学Ⅲ(応用食品科学)
											2753	応用生命科学Ⅳ(資源生物工学)

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名		
								a,e	6,10,14
								a	4,6,10
								a	7
3333	人間科学V (環境経済学)							a	6,8,9,10
3332	人間科学IV (Cultural Diversity)							b,e	6,8,10,13,14
								c	1,3,4,5
								a	6,10
								a	6,10
								a	6,10,12
								a	6,10
3651	免疫学	3652	発生生物学						
		3653	神経生物学						
		3711	食品衛生学						
3721	薬理学概論							a	6,8,9,10
								a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
3743	分子生命科学V (生命計測化学)	3741	分子生命科学Ⅲ (細胞の物理生 物学)						
3742	分子生命科学IV (医薬品合成化学)	3745	分子生命科学VII (ケミカルバイ オロジー)						
3744	分子生命科学VI (バイオインフォ マティクス)	3746	分子生命科学VIII (生体物質分析 化学)						
		3747	分子生命科学IX (医薬品化学)						
3751	応用生命科学V (応用微生物学)	3755	応用生命科学IX (ゲノム進化学)					a	6,8,9,10
3752	応用生命科学VI (環境生理学)								
3753	応用生命科学VII (環境生態学)								
3754	応用生命科学VIII (蛋白質工学)								
3756	応用生命科学X (ECO-TOPイン ターンシップI)	3757	応用生命科学XI (ECO-TOPイン ターンシップII)						

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

2 応用生命科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
7 その他の 専門系の科目	6 生命医科学 科選択必修			1761	生命医科学Ⅰ (生命医科学特講Ⅰ)	1762	生命医科学Ⅱ (解剖生理学)					
	7 その他 生命科学部 として特徴 のある科目						1771	生命科学Ⅰ (地球環境論)			2772	生命科学Ⅳ (基礎情報学)
									2773	生命科学ゼミ ナールⅠ	2774	生命科学ゼミ ナールⅡ
											2775	生命科学Ⅵ (応用統計学)
	8 初等科目		1782	初等物理学								
			1784	初等生物学								
8 教職に関する 科目	1 教科及び教科 の指導法に関 する科目											
	2 教育の基礎的理 解に関する科目					1821	教職概論	2821	教育原理	2823	教育課程論	
									2822	教育行政学		
	3 道徳、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目										2832	特別活動指導論
							1831	教育方法・ 技術論				
							1832	ICT活用の 理論と実践				
	4 教育実践に 関する科目											
	5 介護等体験											

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名		
3761	生命医科学Ⅲ (生命医科学 特講Ⅱ)	3763	生命医科学Ⅴ (腫瘍医科学)					a	6, 8, 9, 10
3762	生命医科学Ⅳ (発生再生医学)	3765	生命医科学Ⅶ (代謝医科学)						
3764	生命医科学Ⅵ (分子病理学)	3766	生命医科学Ⅷ (感染医科学)						
		3767	生命医科学Ⅸ (ゲノム医科学)						
		3768	生命医科学Ⅹ (ゲノム情報 医科学)						
3771	生命科学Ⅱ (行動神経生 物学)	3774	生命科学Ⅶ (アドバンス 薬理学)						
3772	生命科学Ⅲ (放射線生物 影響論)	3775	生命科学Ⅷ (アドバンス 薬剤学)						
3773	生命科学Ⅴ (計算機の論理 とデータ構造)							a,b	4, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3776	生命科学ゼミ ナールⅢ	3777	生命科学ゼミ ナールⅣ (英語で学ぶ 生命科学)					a,b,e	6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
								a	6
3811	理科教育法Ⅰ	3812	理科教育法Ⅱ					a,b	2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3813	理科教育法Ⅲ								
3821	教育心理学								
3822	特別支援教育								
		2831	道徳教育指導論						
2833	総合的な学習の 時間の指導法								
3831	教育相談								
		3832	生徒・ 進路指導論						
				4841	教育実習Ⅰ				
				4842	教育実習Ⅱ				
						4843	教職実践演習 (中・高)		
3851	介護等体験								

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

3 生命医科学科 カリキュラムマップ

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容					
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2					
				前期		後期		前期		後期			
中分類	小分類	ナンバ	科目名	ナンバ	科目名	ナンバ	科目名	ナンバ	科目名	ナンバ	科目名		
1 専門的総合力を高める科目、卒業研究関連科目	1 実習				1111	基礎生命科学実習Ⅰ(化学)	2111	基礎生命科学実習Ⅱ	2112	基礎生命科学実習Ⅲ			
					1112	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)							
					1113	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)							
	2 卒業研究												
	3 総合演習						2131	生命科学特別演習Ⅰ	2132	生命科学特別演習Ⅱ			
2 学修動機や汎用的能力を高める科目	1 導入、動機付け、協調的課題解決能力			1211	生命医科学科ゼミナール								
				1212	生命医科学概論								
	2 汎用的能力、動機付け、協調的課題解決能力			1221	生命科学と社会Ⅰ(大学入門)			2221	生命科学と社会Ⅱ(演習)				
									2222	生命科学と社会Ⅲ(卒業生に学ぶ未来)			
									2223	生命科学と社会Ⅶ(サイエンスコミュニケーション)			
3 情報リテラシー			1231	情報科学Ⅰ	1232	情報科学Ⅱ							
4 生命倫理、科学倫理							2231	情報科学Ⅲ					
5 知財													
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目	1 英語		1311	Basic Academic EnglishⅠ	1313	Basic Academic EnglishⅢ	2311	Intermediate Academic EnglishⅠ	2313	Intermediate Academic EnglishⅢ			
			1312	Basic Academic EnglishⅡ	1314	Basic Academic EnglishⅣ	2312	Intermediate Academic EnglishⅡ	2314	Intermediate Academic EnglishⅣ			
							2315	English and Science in the USA					
	2 その他の言語							2321	言語と文化Ⅰ(ドイツⅠ)	2322	言語と文化Ⅱ(ドイツⅡ)		
								2323	言語と文化Ⅲ(フランスⅠ)	2324	言語と文化Ⅳ(フランスⅡ)		
								2325	言語と文化Ⅴ(中国Ⅰ)	2326	言語と文化Ⅵ(中国Ⅱ)		
							2327	言語と文化Ⅶ(韓国Ⅰ)	2328	言語と文化Ⅷ(韓国Ⅱ)			

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名		
3111	生命科学実習	3112	生命医科学 実習					a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
				4121	卒業論文研究〈通年〉			a,b,d	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
				4122	生命科学特講Ⅰ	4123	生命科学特講Ⅱ	a,e	4,6,7,8,9,10,11,12,13
				4124	ゼミナールⅠ	4125	ゼミナールⅡ	a,b	4,6,8,9,10,11,12,13
3131	生命科学特別 演習Ⅲ	3132	生命科学特別 演習Ⅳ					a,b,d,e	1,2,3,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
								b,c	4,5,6,7,8,9,10,11,12,13
								b,c	6,8,10
								b,c	1,2,3,4,5,6,8,9,12,13
								b,c	2,6,8,11,13
3221	生命科学と社会Ⅳ (応用演習)	3222	生命科学と社会Ⅴ (開発・起業企画)					b,c	5,6,8,9,10,11,12,13
		3223	生命科学と社会Ⅵ (Global Perspective)					b,e	6,8,10,13,14
3224	インターンシップ	3224	インターンシップ					b,c	1,2,3,4,5,6
								a,b	3,6
								a	3,6
						4241	生命と倫理	a	6,12,13,14
		3251	生命科学知財論					a	6,8,14
3311	Advanced Academic EnglishⅠ	3313	Advanced Academic EnglishⅢ					e	4,7,11
3312	Advanced Academic EnglishⅡ	3314	Advanced Academic EnglishⅣ						
3315	English for ScienceⅠ	3316	English for ScienceⅡ					e	4

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

3 生命医科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
				前期		後期		前期		後期		
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
3 教養・語学力、国際的能力を高める科目	3 その他の人文社会科学系科目					1331	法学(日本国憲法)					
				1332	人間科学Ⅰ(教育学)			2331	哲学			
								2332	科学史			
								2333	人間科学Ⅱ(外国文学)			
										3331	人間科学Ⅲ(経済学)	
4 健康				1341	スポーツⅠ					2341	スポーツⅡ	
4 数学・物理学・生物情報科学系の科目	1 数学			1411	数学Ⅰ	1412	数学Ⅱ					
	2 生物情報科学							2421	生物統計学			
	3 物理学			1431	物理学	1432	生命物理学					
5 化学系の科目	1 一般化学・物理化学			1511	化学	1512	生物無機化学	2521	分析化学	2522	物理化学	
	2 有機化学					1513	放射化学					
6 生物学系の科目	1 一般生物学			1611	生物学							
	2 生化学					1621	生化学Ⅰ	2621	生化学Ⅱ			
	3 分子生物学					1631	分子生物学Ⅰ	2631	分子生物学Ⅱ	2632	遺伝子工学	
	4 細胞生物学					1641	微生物学	2641	分子細胞生物学Ⅰ	2642	分子細胞生物学Ⅱ	
	5 その他							2651	生理学	2652	生態学	
7 その他の専門系の科目	1 食品衛生											
	2 薬科学									2721	創薬概論	
	3 地学・環境保全										2731	地学
											2732	地学実習
									2741	分子生命科学Ⅰ(生物有機化学)		
	4 分子生命科学科 選択必修								2742	分子生命科学Ⅱ(天然医薬品化学)		
	5 応用生命科学科 選択必修						1751	応用生命科学Ⅰ(多様性生物学)	2751	応用生命科学Ⅱ(植物生理学)	2752	応用生命科学Ⅲ(応用食品科学)
											2753	応用生命科学Ⅳ(資源生物工学)

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名	ナンバ リング	科 目 名		
								a,e	6,10,14
								a	4,6,10
								a	7
3333	人間科学V (環境経済学)							a	6,8,9,10
3332	人間科学IV (Cultural Diversity)							b,e	6,8,10,13,14
								c	1,3,4,5
								a	6,10
								a	6,10
								a	6,10,12
								a	6,10
3651	免疫学	3652	発生生物学						
		3653	神経生物学						
		3711	食品衛生学						
3721	薬理学概論							a	6,8,9,10
								a,b,c	1,2,3,5,6,8,9,10,11,13
3743	分子生命科学V (生命計測化学)	3741	分子生命科学Ⅲ (細胞の物理生 物学)						
3742	分子生命科学IV (医薬品合成化学)	3745	分子生命科学VII (ケミカルバイ オロジー)						
3744	分子生命科学VI (バイオインフォ マティクス)	3746	分子生命科学VIII (生体物質分析 化学)						
		3747	分子生命科学IX (医薬品化学)						
3751	応用生命科学V (応用微生物学)	3755	応用生命科学IX (ゲノム進化学)					a	6,8,9,10
3752	応用生命科学VI (環境生理学)								
3753	応用生命科学VII (環境生態学)								
3754	応用生命科学VIII (蛋白質工学)								
3756	応用生命科学X (ECO-TOPイン ターンシップI)	3757	応用生命科学XI (ECO-TOPイン ターンシップII)						

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		

3 生命医科学科 カリキュラムマップ 続き

履修要項

大分類		高校程度の内容		導入科目、教養科目、基礎科学系科目や語学系科目の基礎的内容				基礎科学系科目や語学系科目の基礎的～発展的な内容、応用科学系科目の基礎的な内容				
		リメディアル科目		Grade 1				Grade 2				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
中分類	小分類	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	
7 その他の 専門系の科目	6 生命医科学 科選択必修			1761	生命医科学Ⅰ (生命医科学特講Ⅰ)	1762	生命医科学Ⅱ (解剖生理学)					
	7 その他 生命科学部 として特徴 のある科目						1771	生命科学Ⅰ (地球環境論)			2772	生命科学Ⅳ (基礎情報学)
									2773	生命科学ゼミ ナールⅠ	2774	生命科学ゼミ ナールⅡ
	8 初等科目		1782	初等物理学								
			1784	初等生物学								
	8 教職に関する 科目	1 教科及び教科 の指導法に関 する科目										
2 教育の基礎的理 解に関する科目						1821	教職概論	2821	教育原理	2823	教育課程論	
								2822	教育行政学			
3 道徳、総合的な 学習の時間等 の指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目										2832	特別活動指導論	
							1831	教育方法・ 技術論				
							1832	ICT活用の 理論と実践				
4 教育実践に 関する科目												
5 介護等体験												

必修科目
 学科指定・英語選択必修
 選択科目
 自由科目・教職科目

基礎科学系科目、語学系科目、 応用科学系科目の発展的な内容				高度な科目 (卒業論文研究、卒業研究関連科目)				コンピ テンス	コンピテンシー
Grade 3				Grade 4					
前 期		後 期		前 期		後 期			
ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名	ナンバ リング	科目名		
3761	生命医科学Ⅲ (生命医科学 特講Ⅱ)	3763	生命医科学Ⅴ (腫瘍医科学)					a	6, 8, 9, 10
3762	生命医科学Ⅳ (発生再生医学)	3765	生命医科学Ⅶ (代謝医科学)						
3764	生命医科学Ⅵ (分子病理学)	3766	生命医科学Ⅷ (感染医科学)						
		3767	生命医科学Ⅸ (ゲノム医科学)						
		3768	生命医科学Ⅹ (ゲノム情報 医科学)						
3771	生命科学Ⅱ (行動神経生 物学)	3774	生命科学Ⅶ (アドバンス 薬理学)						
3772	生命科学Ⅲ (放射線生物 影響論)	3775	生命科学Ⅷ (アドバンス 薬剤学)						
3773	生命科学Ⅴ (計算機の論理 とデータ構造)							a,b	4, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3776	生命科学ゼミ ナールⅢ	3777	生命科学ゼミ ナールⅣ (英語で学ぶ 生命科学)					a,b,e	6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
								a	6
3811	理科教育法Ⅰ	3812	理科教育法Ⅱ					a,b	2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 13
3813	理科教育法Ⅲ								
3821	教育心理学								
3822	特別支援教育								
		2831	道徳教育指導論						
2833	総合的な学習の 時間の指導法								
3831	教育相談								
		3832	生徒・ 進路指導論						
				4841	教育実習Ⅰ				
				4842	教育実習Ⅱ				
						4843	教職実践演習 (中・高)		
3851	介護等体験								

コンピテンス		コンピテンシー					
a	専門力	1	自己管理	6	情報収集	11	文章表現
b	課題解決力	2	計画	7	英論文読解	12	プレゼンテーション
c	協働力	3	実行	8	課題発見	13	ディスカッション
d	自己教育力	4	コミュニケーション	9	課題解決	14	倫理観
e	国際力	5	周囲への働きかけ	10	批判的思考・論理的思考		



since 1880

東京薬科大学生命科学部